

CSRの取り組み

ブラザーグループは、事業活動の礎である「グローバル憲章」に掲げられた
ステークホルダーへの信頼を積み重ねることを
CSR経営の重要課題と位置づけ、グループ一丸となって取り組んでいます。

INDEX

トップからのCSRメッセージ	1
ブラザーグループのCSR	2
ステークホルダーの皆さまから信頼されるために	3
ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則	9
ブラザーグループのCSR課題	13
CSRデータ	19
ステークホルダーの皆さまとともに	22
お客様とともに	
お客様第一の製品開発	23
期待に応える設計品質	24
販売・サービス体制	26
従業員とともに	
多様な人材の確保	28
多様な働き方の支援	31
人材育成	35
安全衛生・防災	37
健康経営の推進	39
ビジネスパートナーとともに	
CSR調達の推進	44
お取引先の声	48
株主とともに	
IRコミュニケーション	51
外部からの評価	53
地域社会とともに	
グローバルな社会貢献活動	55
各地域での社会貢献活動	59
第三者意見	64

報告の範囲: ブラザー工業株式会社および国内・海外グループ会社
対象期間: 活動報告(実績) [2016年4月1日~2017年3月31日]
参考にしたガイドライン: GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第4版」

トップからのCSRメッセージ

ステークホルダーの皆さまからの信頼を積み重ねるために

ブラザーグループのCSR経営

企業にとって「未来永劫に繁栄し続けること」が重要だと考えています。そのためには、事業の成長を目指すと同時に、社会への責任を真摯に果たし続ける経営、つまり、CSR経営をグローバルに推進することが大切です。

CSR経営とは、「ブラザーグループグローバル憲章」に示しているように、社会からの要請や技術の変革など、会社を取り巻くさまざまな環境変化を先取りし、あらゆるステークホルダーの皆さまとの信頼を積み重ね、お客様や社会にとっての新たな製品やサービス、ソリューションを生み出すこと、つまりブラザーグループの使命である「優れた価値を提供する」ことに他なりません。



CSR経営の進化

ブラザーグループはその時々を経営環境の変化に即して事業を展開し、企業としての進化を果たしてまいりました。

しかし今、世界的なGDP成長率の低迷、モバイル端末の普及に伴う印刷機会の減少、あるいは為替や株価の乱高下など、ブラザーグループ全体に大きな経営インパクトを及ぼす外部環境・事業環境の急激な変化が起きています。非常に不透明な今だからこそ、中期戦略「CS B2018」で取り組んでいる「事業」「業務」「人財」の3つの変革をさらに進め、経営基盤の強化を図りたいと考えています。

そのためブラザーグループは、多様化するお客様の声を反映した新規事業の育成・新商品の創出とそのプロセスを通じたモノ創り力の進化、グローバルな人材の育成、女性活躍推進をはじめとするダイバーシティの促進、地球環境保全への貢献、地域へ密着した社会貢献活動、コーポレートガバナンスの推進など、さまざまな課題に真摯に向き合っています。

「ブラザーグループ グローバル憲章」に示された価値観を共有し、グループ従業員全員が"At your side."の精神で行動し、ブラザーグループのCSR経営をさらに進化させていきます。

ステークホルダーの皆さまからの信頼を追求

ブラザーグループは、企業の成長に比例して高まるグローバルな期待や要請に応えるために、今後も、モノ創り企業としての優れた価値の提供、環境保全、社会貢献に取り組んでまいります。

ブラザーグループは未来に向かい、あらゆるステークホルダーの皆さまからの信頼を積み重ねる経営にグローバルチーム一丸となって挑戦し続けます。

2017年8月
ブラザー工業株式会社
代表取締役社長
小池 利和

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループは、CSR活動の根幹となる考え方が示されている「ブラザーグループ グローバル憲章」を共有している従業員一人ひとりの行動によって、すべてのステークホルダーから信頼され、従業員にとって心の底から誇りの持てる企業となることを目指します。

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために

- ・すべてのステークホルダーから信頼され、従業員にとって誇りの持てる企業を目指して
- ・すべての活動の礎に---「ブラザーグループ グローバル憲章」の共有
- ・一人ひとりの行動のさらなる促進

ブラザーグループのCSR課題

- ・グローバル憲章に基づいたブラザーグループCSR経営の課題
- ・2016年度の活動計画と実績、および2017年度の活動計画

ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則

- ・「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」の制定にあたって

CSRデータ

- ・数字で見るブラザーグループのCSR

ブラザーグループのCSR

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために

すべてのステークホルダーから信頼され、従業員にとって誇りの持てる企業を目指して

ステークホルダーからの信頼を高め、持続的に成長

ブラザーグループは、グローバルな期待や要請に応えるために、モノ創り企業としての優れた価値の提供、環境保全、社会貢献を、最高度の倫理観に根差した全従業員の行動によって促進し、ブラザーブランドへの信頼を高めていきます。

そして、未来に向かい、あらゆるステークホルダーから信頼される活動を一つ一つ積み重ね、従業員にとって誇りの持てる企業を目指すことで、ブラザーグループは持続的に成長していきます。

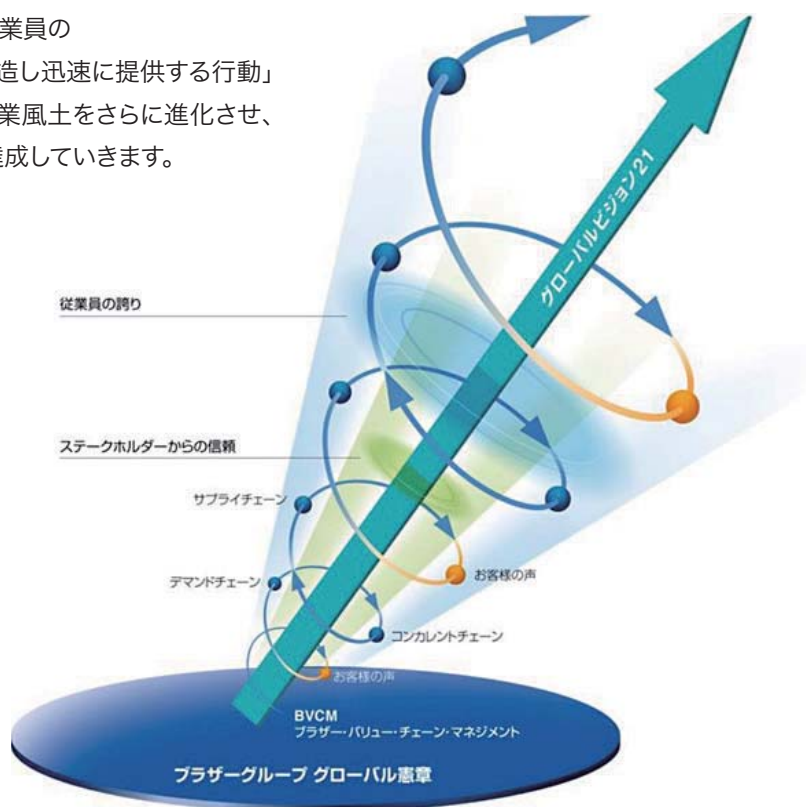
変革を恐れないブラザーの良き企業風土をさらに進化

ブラザーグループは1999年、グループ各社とグループ従業員の日々の意思決定と実行に関する「基本方針」と「行動規範」から成る「ブラザーグループ グローバル憲章」(以下、グローバル憲章)を制定しました。

グローバル憲章に示しているように、社会からの要請や技術の変革など、会社を取り巻くさまざまな環境変化を先取りし、あらゆるステークホルダーとの信頼を積み重ね、お客様や社会にとっての新たな製品やサービスを生み出すこと、すなわち優れた価値を提供することがブラザーグループの使命です。

ブラザーグループは、独自のマネジメントシステム「ブラザー・バリュー・チェーン・マネジメント」(BVCM)を構築し、お客様のもとへ優れた価値をお届けするまでの過程を「デマンドチェーン」「コンカレントチェーン」「サプライチェーン」の3つのチェーンでつないでいます。グループ全体で優れた価値を提供する姿勢を貫き、事業を成長させてきたことにより、お客様をはじめとするさまざまなステークホルダーに与える影響も拡大し、それに伴いステークホルダーからの「要請や期待」も高まっています。

こうした中、ブラザーグループはグループ従業員の「"At your side."の精神で、優れた価値を創造し迅速に提供する行動」を強化し、変革を恐れないブラザーの良き企業風土をさらに進化させ、中長期ビジョン「グローバルビジョン21」を達成していきます。



ブラザーグループのCSR

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために

すべての活動の礎に---「ブラザーグループ グローバル憲章」の共有

グローバル憲章に基づく行動によってステークホルダーに価値を提供

40以上の国と地域で働くブラザーグループ従業員の活動の礎となるよう制定されたグローバル憲章は、ブラザーの中で受け継がれてきた「世の中の役に立ち、良い会社をつくりたい」という思いを言葉にしたものです。

創業100年となった2008年に、時代の変化に合わせて表現の変更や、従業員にとって理解しやすい内容への見直しを行いました。

グローバル憲章の「基本方針」は「グループ経営」「グループの成長」「ステークホルダーとの関係」で構成されています。

例えば「グループ経営」には、

- ・あらゆる場面でお客様を第一に考え、モノ創りを通じて優れた価値を創造し、迅速に提供することを使命とする
- ・グローバルな市場から求められる多様な要請や期待にすばやく応えるために、あらゆる変革を恐れない

「グループの成長」には、

- ・お客様に対し、提供する価値を増大させることで成長する
- ・企業価値を長期的に高め、従業員にとって誇りが持てる企業となる
とあります。

「ステークホルダーとの関係」の「お客様」には、

- ・"At your side."の精神で、優れた価値を創造し、迅速に提供する

「従業員」には、

- ・従業員の多様性を尊重し、さまざまな能力を発揮できる職場環境とチャレンジな仕事の機会を提供する

「ビジネスパートナー」には、

- ・常に公平・公正な取引を行い、相互信頼関係を築いて成長しあうことを目指す
とあります。他に「株主」「地域社会」「環境」と、それぞれのステークホルダーに対する方針も示しています。

「行動規範」には「個人に対する信義と尊敬」「順法精神・倫理観」「チャレンジ精神・スピード」とステークホルダーからの信頼を積み重ねるための行動として、望ましい姿が示されています。

このようにグローバル憲章には、ブラザーグループのCSR活動の根幹となる考え方が示されており、グローバル憲章の共有活動を通じて、これらの考え方を共有している従業員一人ひとりの行動が、ブラザーグループのCSR経営の要です。

ブラザーグループは、従業員の自律的な行動で、あらゆるステークホルダーから信頼される活動を一つ一つ積み重ねていきます。

ブラザーグループのCSR

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために

すべての活動の礎に---「ブラザーグループ グローバル憲章」の共有

全従業員でグローバル憲章を共有するために、継続的な共有活動を展開

ブラザーグループは、CSR経営の実現に向け、グローバル憲章がグループ全従業員の活動の礎として共有され、日々の行動に表れている状態を目指し、継続的かつグローバルな共有活動に取り組んでいます。

グローバル憲章が制定された1999年以後2007年まではグローバル憲章の共有は進んでおらず、2007年に各拠点の経営層を対象に行った調査の「従業員はグローバル憲章を行動の基準にしているか?」という項目で「はい」の回答は、8%という状況でした。

2008年、創業100年のタイミングで、グローバル憲章を時代の変化に合わせた表現や、従業員にとって理解しやすい内容へ改訂したことを機に、本格的に共有活動をスタートしました。

グローバル憲章を全従業員で共有していく環境づくりとして、27言語に翻訳し携帯用のポケット版カード(25言語)とポスター(27言語)を制作し各拠点に配布しました。ドイツ語やイタリア語のほかマレー語やネパール語など翻訳する言語は従業員の母国語とし、各地域にある拠点の責任者や従業員に協力を得て、より理解しやすい表現の翻訳になるよう工夫をしています。

各拠点の経営層は2008年以降毎年、グローバル憲章に基づくコミットメント(約束)を策定し、率先して行動に示しています。

各拠点や部門では、責任者が任命した共有リーダーが、活動計画を策定し共有活動を推進しています。共有リーダーは、研修の企画、朝礼や定例会でグローバル憲章に基づいて自身の行動を振り返る対話を行うなど、組織の役割や課題に即してさまざまな活動を行っています。

日本では2010年から、中国では2012年から、各組織で行っている共有活動や課題を話し合うための共有リーダー会を定期的実施しています。2016年には、中国の共有リーダーが日本の共有リーダー会に参加し共有活動のプロセスや創意工夫を発表し意見交換をするなど、グローバルに情報共有して共有活動の活性化に取り組んでいます。

このような活動を進めると同時に、CSR経営やグローバル憲章共有活動に関わる情報を共有するために開設したイントラネット(3言語)を活用して、重点方針の説明や各組織の活動計画、具体的な活動事例、経営層のコミットメント(約束)を従業員に共有しています。

従業員一人ひとりが自らの行動に対する意識を高め、新たな行動につなげるために、経営層からのメッセージ発信(10言語)や経営層との「直接対話」の機会を大切にしています。2016年度の経営層からのメッセージ発信は71件、直接対話は700回以上(前年比の約3倍)行われています。

2017年1月に開催された経営層によるグローバル憲章共有会議では、ブラザーグループの中期戦略「CS B2018」で示した「人財の変革」の推進について「変革が起きやすい風土醸成」をどう実現していくか、経営層としてどのような発言や行動で効果的なコミュニケーションを図っていくかを、社長をはじめとする執行役員が議論しました。



ポケット版カードとポスター

ブラザーグループのCSR

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために

すべての活動の礎に---「ブラザーグループ グローバル憲章」の共有

グローバル憲章の共有状況は年1回の従業員への意識調査で把握しています。3万人以上の従業員の声が集約された2017年1月の調査では、「グローバル憲章を理解している」は4.33点、「グローバル憲章に基づく行動をしている」は4.43点、また「ブラザーで働くことを誇りに思っている」は4.38点(ともに5点満点)という結果でした。

「グローバル憲章の周知と理解促進」が共有方針・キーワードだった2008年から9年。愚直に共有活動を継続し、グローバル憲章は着実にブラザーグループに根付いてきています。



共有リーダーを担当する従業員の声 より多くの仲間が誇りをもって働ける環境創りに貢献

兄弟機械(西安)有限公司
李 演

兄弟機械(西安)有限公司では、従業員の優秀なチャレンジ事例の表彰、事業のノウハウや従業員のスキルを活かせる社会貢献活動、従業員の家族を招待する職場見学会、地域の環境保全など、さまざまな従業員参加の活動を行っています。その中で、多くの仲間たちの笑顔に出会い、励ましや支援をいただきました。共有リーダーとして今後も、グローバル憲章共有活動を進化させ、私たちのミッション・ビジョンの実現に向け、明るく前向きに活発な提案や意見が交わされる「変革の起きやすい風土の醸成」に力を入れたいと思っています。そして、より多くの仲間が誇りをもって働ける環境創りに貢献します。

ブラザーグループのCSR

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために

すべての活動の礎に---「ブラザーグループ グローバル憲章」の共有

これまでの主な共有活動

年度	2008～2009	2010～2011	2012～2013	2014～2015	2016～
方針・キーワード	グローバル憲章の周知と理解促進	活動の自律化と対話の促進	行動促進と行動の日常化	チャレンジ風土醸成	変革の起きやすい風土醸成
主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・有識者公演会 ・管理職研修 ・経営層との直接対話の強化 ・経営層メッセージのイントラネット発信の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・共有活動の好事例の共有を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ行動の推進 ・行動の日常化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジを促進する職場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・「変革への挑戦」の促進 ・変革の起きやすい風土づくり
仕組み (構築年度に記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミットメント(約束) ・共有リーダー任命 ・共有活動計画表 ・共有度調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営層共有会議 ・日本共有リーダー会 ・経営層メッセージ、ベトナム語のイントラネット発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国共有リーダー会 ・経営層メッセージ、スロバキア語のイントラネット発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国7拠点横串共有リーダー会 ・共有活動の業務標準化 ・従業員がチャレンジ事例を投稿できるイントラネットページの開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・CSRの取り組みの計画と実績を、投稿・閲覧ができるイントラネットページの開設
ツール (作成年度に記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポケット版カード(25言語) ・ポスター(27言語) ・DVD(5言語) ・情報共有用イントラネット(3言語) ・行動事例集 	<ul style="list-style-type: none"> ・対話促進用の経営層メッセージ映像 ・共有活動のマニュアル一覧 ・e-Learning 	<ul style="list-style-type: none"> ・対行動を振り返る「コミュニケーションチェックシート」 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ風土を醸成するための「行動チェックリスト」 	<ul style="list-style-type: none"> ・新任共有リーダー向けの「あるべき姿シート」 ・CS B2018「変革」映像

ブラザーグループのCSR

ステークホルダーの皆さまから信頼されるために

一人ひとりの行動のさらなる促進

中期戦略「CS B2018」変革への挑戦

ブラザーグループは、新中期戦略「CS B2018」において、「Transform for the Future ～変革への挑戦～」をテーマに「事業」「業務」「人財」の3つの変革を進め構造改革にチャレンジしています。グローバル憲章の共有においても2016年以降の方針・キーワードを「変革の起きやすい風土醸成」とし、活動を推進しています。

ブラザーインターナショナル(インド)Private Ltd.(以下、BIC(I))では、2016年11月に変革に向けた行動の促進を目的にワークショップが行われました。

参加した従業員は、ブラザーグループの108年の歴史の中で生まれたチャレンジの具体例からブラザーグループのDNAを学ぶとともに、BIC(I)での「変革への挑戦」事例を共有し従業員一人ひとりが変革に向かうための行動を宣言しました。

事例共有では、お客様の「購入前にブラザー製品を見てみたい、使ってみてみたい」というご要望を受けてインド国内5カ所にショールーム兼サービスセンターを開設した事例や、業務効率の向上と従業員への迅速な情報共有のため、勤怠管理や給与明細書、各種規定などを、イントラネット上で管理、閲覧できる仕組みを構築した事例などが共有されました。

参加した従業員からは「お客様の要望などの大きな課題に対して、会社を動かすのは無理だと最初から背を向けるのではなく、お客様に価値を届けるためにまずはやってみる、出来る方法を考える、という行動を起こそうと思う」「営業ではないため製品に関する知識を得られる場がないとあきらめていたが、欲しい情報は自ら動くことで入手できることに気づいた。全従業員向けの製品トレーニングを企画する」と、変革に挑戦する行動宣言がありました。

こういった各拠点の「変革への挑戦」事例はグローバルに共有し、従業員一人ひとりの行動を促進しています。イントラネットに、2014年から従業員が自由に画像やコメントを投稿できるページを設置し、2016年は「変革への挑戦」事例の投稿を募集しました。日本や中国、ベトナム、オーストラリア、南アフリカ、ドイツ、スロバキアなどさまざまな地域の拠点から「変革への挑戦」事例の投稿が240件ありました。

ブラザーグループは、これからもステークホルダーの皆さまからの信頼を積み重ね、従業員にとって誇りの持てる企業の実現につながるよう、グループ全従業員でグローバル憲章を共有する活動を継続し、進化させていきます。



ワークショップで発表する従業員

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則

「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」の制定にあたって

ブラザーグループでは、グループがグローバルに展開するすべての活動の礎であり、グループ各社とグループ従業員の日々の意思決定と実行に対する「基本方針」と「行動規範」から成る「ブラザーグループグローバル憲章」を1999年に制定しました。「ブラザーグループ グローバル憲章」では、お客様をはじめとするステークホルダーの皆さまに対するブラザーグループの責任を明確にし、グループ各社とグループ従業員が、それを実践することでCSR経営を推進して参りました。

一方で近年、持続可能な社会の実現のために、企業が社会のなかで果たすべき役割と責任はますます重要性が増し、ブラザーグループに対するステークホルダーの皆さまからの要請や期待もさらに高まってきております。

こうした変化に対応し、企業としての責任を明確に定義し行動していくために、「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」を制定しました。これは、グループ各社が負う責任と行動の根本的な考え方を表明するものです。

本原則に基づき、ブラザーグループが一丸となって、事業を展開する全ての国や地域で求められる社会的責任を果たし、グローバルに統一感あるCSR経営を、積極的に推進していきます。そして、「Brother」というコーポレートブランドが、全てのステークホルダーの皆さまから信頼されるブランドとなること、ブラザーグループが、従業員にとって誇りの持てる真のグローバル企業として、社会とともに未来永劫に繁栄し続けることを目指します。

2012年1月27日
ブラザー工業株式会社
代表取締役社長
小池 利和

ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則

A. 健全な労働環境

ブラザーグループは従業員に健全な労働環境を提供することの重要性を認識し、すべての人に対して信義と尊敬を持って接し、基本的人権を守ります。また従業員にも同様の行動を求めます。

1. 差別および非人道的扱いの禁止

ブラザーグループでは、以下の差別および非人道的行為を禁じます。

(1)人種、年齢、性別、性的指向、妊娠、政治的信条、組合への加入、配偶者の有無、国籍、民族的背景、宗教、障がい等を理由にした違法な差別。

(2)ハラスメントや嫌がらせ、体罰、精神的・肉体的強要、またはかかる対応を振りかざす行為によって人間の尊厳を傷つける行為。

2. 公正適法な労働慣行の維持

ブラザーグループは、労働時間、休暇、賃金、手当(最低賃金を含む)、残業等の労働条件について定めた現地の法令、管轄官庁の指導、または適切な現地の業界慣行に従うよう努めます。

3. 結社の自由

ブラザーグループは、活動する国や地域において法令によって従業員に認められる、結社の自由、労働組合に加入する権利、代表を要求する権利および労働者協議会に加入する権利を尊重します。

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則

「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」の制定にあたって

4. 強制労働及び児童労働の禁止

ブラザーグループは、以下のような、本人の自主的な意思に反し労働を強制したり、児童を雇用したりすることを許容しません。

- (1) 強制労働または意志に反する囚人労働を利用すること。
- (2) 雇用の条件として公的に発行された身分証明書または労働許可証の引渡しを義務づけること。(身分確認や公官庁での手続きのために一時的に提出を求めることは除く)
- (3) 15歳未満の者(または当該国の法律が14歳の就労を認めている場合は14歳未満の者)および現地の法律が定める義務教育修了年に満たない者を雇用すること。
- (4) 18歳未満の従業員が健康と安全を危険にさらす業務を遂行すること。

5. 懲戒方針の明示

ブラザーグループは、懲戒方針を設ける場合は、その手続きと共に社内規程に明記し、従業員に周知します。

6. 内部通報

従業員が、本原則、各社の行動基準、その他の社内方針、現地の法令への違反行為を見聞きした場合は、その旨をブラザーグループ内のしかるべき立場の者まで通報することを勧めています。本原則、社内方針、適用される法令に対する違反行為が適正に通報された場合、ブラザーグループは、必要に応じ、かつ現地の法律で認められる限り、通報者の匿名性を守ります。また違反行為を通報した者に対し、従業員が報復的な措置を取ることを禁じます。

B. 職場の安全衛生

1. 職場の安全

ブラザーグループは、関係法令に従い、安全で衛生的な職場環境を整備します。またブラザーグループは、職場における従業員の健康と安全を守るために、以下の措置を講じます。

- (1) 肉体を酷使する作業、電気その他のエネルギー源、火災、車両、化学物質や生物的・物理的因子への曝露などの潜在的な危険を査定し、適切に管理する。
- (2) 安全対策を施し適切に設計された職場を維持管理するとともに、必要な安全用具を常備する。
- (3) 安全作業手順・制度を実施する。また従業員教育を継続するとともに、労働災害・労働疾病の予防、管理、追跡、報告のための制度を設ける。
- (4) 避難訓練や復旧計画など、緊急事態および事故の発生を想定した対策ならびに対応手順を導入する。

2. 衛生的な設備

ブラザーグループは、従業員およびブラザー社内で働く第三者のために、清潔なトイレおよび給水設備を整備します。また調理・飲食施設がある職場では、かかる施設を衛生的に保ちます。

寮がある場合は、十分な維持管理を行い、清潔・安全に保ちます。また適切な非常口を設けるとともに、シャワー用の設備、適切な温度および換気設備、個人スペースを提供します。なお、以上についてはいずれも各国や地域の基準に準ずるものとします。

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則

「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」の制定にあたって

C. 地球環境の保全

ブラザーグループは、ブラザーグループ環境方針を定め地球環境の保全に努めます。具体的には、持続的発展が可能な社会の構築に向け、設計から開発、生産、使用、廃棄、再利用、再生に至る製品ライフサイクルの各段階を含む企業活動のあらゆる面で、必要とされる環境上の許可証、認可を取得するとともに、製品に含まれる物質の規制など国内外で適用されるすべての環境関連法令を順守します。さらに、汚染防止策や省資源化に努めます。

D. 倫理的誠実な事業活動

ブラザーグループは、企業活動のあらゆる面において、最高度の倫理観を持ち、最大限の誠意を尽くして行動します。

1. 公正な取引

ブラザーグループは、活動を行う国や地域において適用される公正な取引や市場競争に関する法令を順守し、市場での公正かつ自由な競争を阻害するような行為は行いません。また物品やサービスの調達に当たっても調達先の選定や取引条件の決定を公正に行います。

2. 適正広告

ブラザーグループは、関係する適正広告基準を守ります。誤解を招くような内容や、事実と異なる内容の広告を行わないよう努めます。

3. 不正便宜の禁止

ブラザーグループは、形式の如何を問わず、汚職、強要、横領に一切かかりません。また賄賂はじめ過剰または不適切な便宜を供与したり、受けたりしません。

4. 偽りのない正しい企業情報の記録及び開示

ブラザーグループは、財務関係記録を始めとする全ての必要な記録および報告を正確かつ適時に作成し、保管します。また、ブラザーグループは、関係法令に従い、株主、投資家および資本市場が十分な情報を得た上で投資判断を下すことができるように、財務状況ならびに事業情報を正確かつタイムリーに開示します。さらに、ブラザーグループは、従業員が、新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、インターネットメディア等に一個人として情報を発信する場合に、それがブラザーグループの公式見解と誤認されることがないように、従業員に適切な行動を求めます。

5. 情報管理

ブラザーグループは、厳格な情報管理制度を運用し、従業員が、ブラザーグループ各社、その他の組織、またはお客様に関する機密情報を、本人の承諾を得ずして、不法に第三者に開示することがないようにします。

6. 個人情報保護

ブラザーグループは、お客様、お取引先、および従業員のプライバシーを尊重し、現地のプライバシー関連法に依拠して、個人情報へのアクセスの制限や、セキュリティ対策を講じます。またブラザーグループは、お客様や従業員の名簿を含む個人情報を安全に管理するとともに、現地の個人情報保護法および自社のプライバシー保護方針の下で認められた場合を除き、または別途許可を受けた場合を除き、個人情報を入手しません。

7. インサイダー取引の禁止

ブラザーグループは、従業員に違法なインサイダー取引にかかわらないことを求め、インサイダー取引を予防する措置を講じます。違法なインサイダー取引とは、一般的に、ある株や証券についての重大な事実を知る者が、その事実が公表される前に当該株や証券を売買する行為を指します。

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則

「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」の制定にあたって

8. 知的所有権の保護

ブラザーグループは、ブラザーグループの知的所有権(特許権、商標権、著作権を含みますが、これだけには限定されません)の確保、維持、充実に努めます。また第三者の知的所有権を尊重します。ブラザーグループは、故意に他者の知的所有権を侵害しません。

E. 本原則実践のための社内体制

ブラザーグループは、本原則を実践するために、以下の各号を目的とする体制を整備します。

- (1) ブラザーグループ各社にて、本原則で定める水準を満たす各社の行動基準及び社内規程等を制定し、従業員にその順守を求める。
- (2) 本原則および各社の行動基準の運用はブラザーグループ各社の組織に応じ責任部門を明確にする。
- (3) 従業員が各社の行動基準を順守するための教育を継続的に行う。
- (4) 本原則および各社の行動基準が順守されていることを確認するために定期的に監査を行う。
- (5) 監査の結果、問題が発見された場合は、適時その解決をはかる。

ブラザー工業株式会社の法務担当執行役員は、ブラザーグループ各社における上記体制の実施状況を確認し、統括するとともに、社内体制のあり方を適宜に見直すものとします。

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループのCSR課題

グローバル憲章に基づいたブラザーグループCSR経営の課題

各地域が自律的に取り組みを推進

ブラザーグループは、世界の各地域で多くの事業を展開しています。そのような中でCSR経営を推進するために、各地域は、すべての活動の礎である「ブラザーグループ グローバル憲章」(以下、グローバル憲章)に基づいて抽出したCSR経営の課題に対し、それぞれの業務の特性、地域の文化・慣習を考慮して、自律的な取り組みを行っています。

ステークホルダー	ブラザーグループ グローバル憲章	項目
お客様	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる場面でお客様第一を考える グローバルな市場から求められる多様な要請や期待にすばやく応える 定められた事業領域内で限られた経営資源を有効活用する 相互協力のもと、お客様中心の事業一貫経営をグローバルに展開する 	お客様第一のマーケティング・商品企画・開発設計(各事業)
		お客様の期待にお応えする設計品質(各事業)
		お客様ご迷惑率を低減させる設計品質(各事業)
		お客様ご迷惑率を低減させる製造品質(各事業)
		お客様第一の販売・サービス体制(各事業)
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 従業員の多様性を尊重する 人格、多様性の尊重、信義と尊敬 	多様な人材の確保
		多様な働き方の支援
	<ul style="list-style-type: none"> 従業員がさまざまな能力を発揮できる職場環境とチャレンジングな仕事への機会を提供する 	各地域での人材育成
		次世代の成長を担うグローバル人材の育成
		安全衛生・防災
	健康経営の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> 従業員の努力と成果に対して、公平な評価と正当な報酬で応える 	適切な評価制度
	<ul style="list-style-type: none"> 従業員に社会の模範となる行動を求める 従業員に会社との価値観の共有を求める 	グローバル憲章の共有
従業員が誇りをもって働ける職場風土創り		
	最高度の倫理観の醸成	

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループのCSR課題

グローバル憲章に基づいたブラザーグループCSR経営の課題

ステークホルダー	ブラザーグループ グローバル憲章	項目
ビジネスパートナー	<ul style="list-style-type: none"> ・常に公平・公正な取引を行う ・信頼関係に基づいて成長しあう 	CSR調達の推進
		仕入先パートナーとの協働
		物流パートナーとの協働
		販売パートナーとの協働
株主	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報公開を行い、株主との間に長期的な信頼関係を築く 	IRコミュニケーション
		社会的責任投資株価指数の構成銘柄
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に対する社会的・経済的・文化的責任を可能な限り分担する 	「地球環境への配慮に関連した活動」 『『地域』『人づくり(従業員を含む)』を意識した活動』にテーマを絞った各地域での自律的な社会貢献活動
		グローバルに統一感を持った社会貢献活動
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・持続的な発展が可能な社会の構築に向け、企業活動のあらゆる場面で地球環境への配慮に前向きで継続的な取り組みを行う 	CO2排出量・廃棄物削減の推進 (地球温暖化の防止)
		消耗品・製品の回収リサイクル (循環型社会形成)
		化学物質や排水の適正管理
		環境社会貢献活動の実施 (可能な限り生物多様性を意識した活動)
		環境コミュニケーションの実施 (「Brother Earth」、イベント、教育など)
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・活動する国や地域における関連法規、規制を遵守し、文化を尊重する ・最高度の倫理観を持って行動する 	グローバルガバナンス体制の構築
		内部統制の推進
		コンプライアンスの推進
		情報セキュリティの推進

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループのCSR課題

2016年度の活動計画と実績、および2017年度の活動計画

2016年度の活動計画と実績

ステークホルダー	2016年度の活動計画	2016年度の実績
お客様	<ul style="list-style-type: none"> ・各種製品・サービスの開発に直結した、お客様訪問調査による顧客価値の向上 ・多様化するお客様からの問い合わせ対応能力の向上 ・SNSなどを活用したお客様とのコミュニケーションの向上 ・快適性を追求した使用品質の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルに顧客訪問調査を実施し、お客様の使用状況に適した価値を提供 ・Webを利用したお客様チャットサービスを開始(中国) ・製品の設置環境や使用状況に関する情報を収集解析して、現実に即した検査・評価技術や手法を確立し、工場での検査のみならず設計から原材料・部品レベルでの信頼性も担保できるよう、全社挙げての活動を実施 ・お客様の感覚による使用時の快適性(FPOT*、画質、静音など)を重視した製品作りを推進 <p><small>*: First Print Output Timeの略称。 印刷開始ボタンを押してから、最初の一枚目が排出されるまでの所要時間</small></p>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル憲章浸透活動、および拠点間連携の促進 ・ブラザーグループ中期戦略CS B2018達成に向けた風土醸成活動 ・グローバル人材育成(海外拠点幹部人材育成、グローバル採用) ・女性活躍推進 ・安全衛生活動推進 ・次世代リーダーの育成 ・従業員意識調査による満足度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「変革の起きやすい風土の醸成」をテーマにしたグローバル憲章浸透活動を各拠点で実施 ・グローバル共通での幹部人材教育や、拠点の特性に応じた専門教育の実施 ・社内の女性活躍推進ワーキンググループの提言を受け、キャリア支援や健康で効率的に働ける環境の整備などの施策を展開 ・経済産業省の平成27年度「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選定(日本) ・ブラザーグループ健康経営理念の制定 ・経済産業省と東京証券取引所が共同で選出する「健康経営銘柄2017」に選定(日本)

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループのCSR課題

2016年度の活動計画と実績、および2017年度の活動計画

ステークホルダー	2016年度の活動計画	2016年度の実績
ビジネスパートナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスパートナーとのCSR勉強会の実施 ・ビジネスパートナーへのブラザーグループのCSR活動紹介 ・優秀ビジネスパートナー表彰 	<ul style="list-style-type: none"> ・各拠点でビジネスパートナーとのCSR調達などの勉強会、アンケートの実施 ・取引先でのCSR活動事例や今後の課題・計画をブラザーのWebサイトで紹介 ・製造拠点にて優秀取引先を表彰
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害に対する復興支援 ・グローバルで一体感を持った社会貢献活動(リレー・フォー・ライフをはじめとするがん患者を支援するチャリティーイベント)への従業員参加 ・それぞれの地域に密着した社会貢献活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本震災・熊本震災など、大規模災害に対する継続的な復興支援 ・グローバルで一体感を持った従業員参加の社会貢献活動ゴールデンリングプロジェクト(リレー・フォー・ライフをはじめとするがん患者を支援するチャリティーイベント)に世界18の拠点が参加 ・拠点が所在する地域の教育施設への支援や清掃活動の実施
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラザーグループ全体でのCO2排出量削減目標を実現するための省エネ活動 ・使用済みカートリッジの回収活動 ・ISO 14001活動 ・環境スペシャルサイト「brotherearth.com」による環境意識の向上 ・植樹活動 ・水保全活動の推進 ・地域と協力した環境保全活動 ・生物多様性保全・愛知目標の周知活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点ごとにCO2排出量の目標値を設定し省エネ活動を実施 ・使用済みのトナー/インクカートリッジ回収活動をグローバルで展開 ・拠点ごとに廃棄物の目標値を設定し、事業活動で発生する廃棄物の削減やリサイクルを実施 ・環境スペシャルサイト「brotherearth.com」を通じた環境保護活動の支援 ・世界各国の拠点で地域社会と協力した植樹活動を実施

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループのCSR課題

2016年度の活動計画と実績、および2017年度の活動計画

2017年度の活動計画

CSR経営の課題に対して、各地域が取り組む2017年度のさまざまな活動計画から、代表的な取り組み計画を抜粋してステークホルダーごとに掲載しています。

ステークホルダー	2017年度の活動計画
お客様	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様にとっての価値の基盤となる安定した品質の製品・サービスの提供 ・SMB*や産業用領域への新たな顧客価値の創出 ・ショールームやSNS・Webを利用した、ブラザーブランドの認知度向上 ・各種製品・サービスの開発に直結した、お客様訪問調査による顧客価値の向上 <p><small>*: Small Medium Businessの略称。 小規模な事業所や中小企業、複数拠点に分散する企業のオフィスなど。</small></p>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル憲章浸透活動、および拠点間連携の促進 ・ブラザーグループ中期戦略CS B2018達成に向けた風土醸成活動 ・グローバル人材育成(海外拠点幹部人材育成、グローバル採用) ・女性活躍推進 ・働きやすい職場環境の整備とワークライフバランスの推進 ・安全衛生・防災活動の推進 ・次世代リーダーの育成 ・従業員が誇りをもって働ける職場風土創り ・従業員意識調査による満足度の向上
ビジネスパートナー	<ul style="list-style-type: none"> ・CSR調達の推進 ・ビジネスパートナーとのCSR勉強会の実施 ・ビジネスパートナーとブラザーグループ相互のCSR活動紹介 ・優秀ビジネスパートナーの表彰
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害に対する復興支援 ・グローバルで一体感を持った社会貢献活動(リレー・フォー・ライフをはじめとするがん患者を支援するチャリティーイベント)への従業員参加 ・それぞれの地域に密着した社会貢献活動

ブラザーグループのCSR

ブラザーグループのCSR課題

2016年度の活動計画と実績、および2017年度の活動計画

ステークホルダー	2017年度の活動計画
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラザーグループ全体でのCO2排出量削減目標を実現するための省エネ活動 ・使用済みカートリッジの回収活動 ・ISO 14001 活動 ・環境スペシャルサイト「brotherearth.com」による環境意識の向上 ・ブラザーグループエコポイント活動 ・植樹活動 ・地域と協力した環境保全活動 ・生物多様性保全・愛知目標の周知活動 ・環境配慮製品の継続的な創出

ブラザーグループのCSR

CSRデータ

数字で見るブラザーグループのCSR

ブラザーグループのCSRに関連する主な数字を、一覧表にまとめました。

ブラザーグループ グローバル憲章

ブラザーグループ グローバル憲章	1999年制定
翻訳言語	27言語
経営層と従業員の対話*	700回以上

*: 2016年度

その他の情報は「ステークホルダーの皆さまから信頼されるために」

<https://global.brother/ja/csr/brothergroup/management>

コーポレートガバナンス

取締役*	11名(うち社外取締役5名)
監査役*	5名(うち社外監査役3名)
役員*	36名(うち外国人1名)
ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則	2012年制定
グローバル内部監査会議	2010年開始
グループ情報管理規程	2015年制定(ブラザー工業は2008年)

*: 2017年6月23日現在

その他の情報は「コーポレートガバナンス」

<https://global.brother/ja/corporate/governance>

お客様

生産拠点や販売・サービス拠点	40以上の国と地域	
製品安全に関する基本方針	2008年制定	
売上収益*	連結 641,185百万円	
地域別売上収益構成比*	日本	18.6%
	米州	31.6%
	欧州	25.1%
	アジア他	24.6%

*: 2016年度

その他の情報は「お客様とともに」

<https://global.brother/ja/csr/stakeholder/customer/development>

ブラザーグループのCSR

CSRデータ

数字で見るブラザーグループのCSR

従業員(ブラザー工業)

従業員数*1	連結 36,929名 / 単独 3,828名
障がい者雇用率*2	2.19%
女性管理職比率*1	3.40%(28名)
育児休職制度の利用者*3	60名(うち男性は17名)
介護休職制度の利用者*3	5名(うち男性は3名)
育児のための短時間勤務者*2	153名(うち男性は5名)
介護のための短時間勤務者*2	2名(うち男性は1名)
看護休暇の利用者*2	31名(うち男性は8名)
在宅勤務制度の利用者*3	41名(うち男性は8名)
ブラザーグループ健康経営理念	2016年制定
生産拠点労働災害件数*2	16件
生産拠点労働災害千人率*2	0.65
グローバル安全防災大会	2008年開始

*1: 2017年3月31日現在

*2: 2016年度

*3: 2016年度の取得開始者数

その他の情報は「従業員とともに」

<https://global.brother/ja/csr/stakeholder/employee/secure>

ビジネスパートナー

調達方針とCSR調達基準	2008年制定
グリーン調達	2001年開始
CSRアンケート	2012年開始(3年ごとに実施)
CSRアンケート集計数*	500社以上

*: 2015年度

その他の情報は「ビジネスパートナーとともに」

<https://global.brother/ja/csr/stakeholder/partner/csr>

ブラザーグループのCSR

CSRデータ

数字で見るブラザーグループのCSR

株主*1

決算説明会	年2回
株主通信	年2回発行(通期号は招集ご通知と合冊)
個人投資家向け会社説明会*2	計12回
モーニングスター社会的責任投資株価指数	2008年から9年連続で選定
SNAMサステナビリティ・インデックス	2012年から5年連続で選定
健康経営銘柄2017	2017年初選定
健康経営優良法人2017(ホワイト500)	2017年認定

*1: 決算情報は株主/投資家の皆さまへ「決算情報」をご覧ください。
<https://global.brother/ja/investor/financial-info>

*2: 2016年度

その他の情報は「株主とともに」
<https://global.brother/ja/csr/stakeholder/shareholder/investor>

地域社会

東海若手起業塾	2008年協賛開始(ブラザー工業)
ゴールデンリングプロジェクトへの従業員参加*	世界18の拠点

*: 2016年度

その他の情報は「地域社会とともに」
<https://global.brother/ja/csr/stakeholder/society/global>

環境

事業所の環境負荷削減	
目標	ブラザーグループ全体のスコープ1、2のCO2排出量を2015年度比2018年度3%削減する(売上高原単位)
2016年度の実績	2015年度比7.4%削減
目標	国内事業所のCO2排出量を1990年度比2018年度28%削減する(絶対値)
2016年度の実績	1990年度比28.4%削減
目標	製造拠点における水使用量を2010年度比2018年度30%削減する(売上高原単位)
2016年度の実績	2010年度比16.7%削減(2015年度比8.0%増加)

その他の情報は「環境への取り組み」
<https://global.brother/ja/eco>

ステークホルダーの皆さまとともに

ブラザーグループは、従業員の自律的な行動で、あらゆるステークホルダーから信頼される活動を一つ一つ積み重ねていきます。

お客様とともに

- ・お客様第一の製品開発
- ・期待に応える設計品質
- ・販売・サービス体制

ビジネスパートナーとともに

- ・CSR調達の推進
- ・お取引先の声

地域社会とともに

- ・グローバルな社会貢献活動
- ・各地域での社会貢献活動

従業員とともに

- ・多様な人材の確保
- ・多様な働き方の支援
- ・人材育成
- ・安全衛生・防災
- ・健康経営の推進

株主とともに

- ・IRコミュニケーション
- ・外部からの評価

お客様とともに

お客様第一の製品開発

「お客様の声」を事業活動の起点とし、ニーズに合った製品・サービスを提供

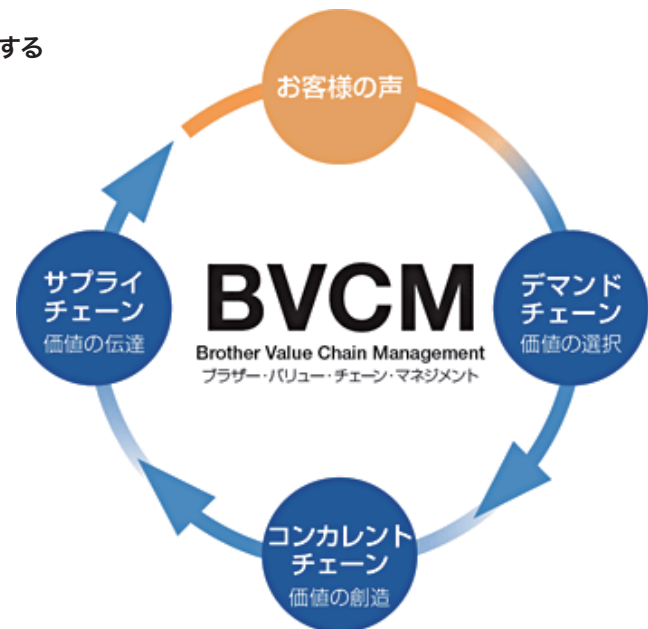
各部門が情報共有しながらお客様のご要望を迅速にカタチにする

ブラザーグループは、独自のマネジメントシステム「ブラザー・バリュー・チェーン・マネジメント」(以下、BVCM)を実施し、"At your side."の精神で、より優れた製品・サービスをお届けしています。

BVCMの中の「コンカレントチェーン」では、デマンドチェーンでまとめられた製品コンセプトを具体的なカタチにします。試作の前後にシミュレーションや想定されるお客様によるモニター試験を何度も行い、高い品質レベルを実現しながら、迅速に開発設計を行います。

また、生産技術担当部門では、お客様が望むタイミングで製品を提供できるように最適な生産ラインを設計します。

各部門が情報共有しながら同時進行で製品化に向けて取り組むことにより、お客様のご要望を迅速にカタチにすることが可能となります。



お客様の声にお応えするための独自のマネジメントシステム

グループ一体となった製品開発

過去最大の人員でさまざまな開発を同時並行で進める体制を構築

「ビジネスを止めない」をキープレーズに、業界トップクラスのビジネス文書に適した印字品質、業界最速のFPOT*、従来機種を大きく超える約15万ページの製品寿命などの商品戦略に基づいて、レーザープリンター主体だったビジネス市場に、新しいビジネス用インクジェットプリンターを投入するため開発をスタートしました。

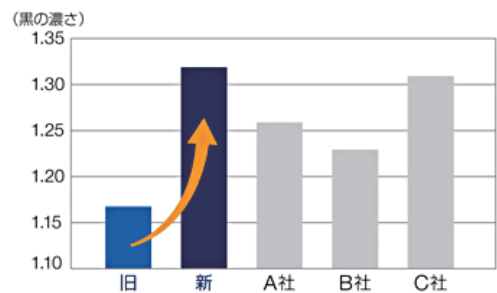
インクジェットプリンターの開発プロジェクトとして過去最大の人員を割り、14のワーキンググループ並びにサブワーキンググループを構築し、さまざまな開発を同時並行で進める体制を作りました。お客様の要求品質を把握するため、QM/デザイン/開発などが協働でベンチマークする製品を徹底解析し、具体的に何を開発する必要があるかを明確にし、目標を数値化しました。高い印字品質を追求するために、顔料インクの採用を決めましたが、染料インクに比べて信頼性、吐出性、用紙への定着性に課題がありました。それぞれの課題をインクの開発担当者だけでなく、メカ、ソフト、ハードの開発担当者も一体となって迅速に解決することで、競合他社を大きく上回る黒濃度の濃い画質を実現しました。発売後、お客様には「読みやすい」と鮮明な印刷に評価をいただきました。

ブラザーグループは、これからもお客様のニーズに合った製品・サービスを提供していきます。

*: First Print Output Timeの略。印刷開始ボタンを押してから、最初の一枚目が排出されるまでの所要時間。



ワーキンググループに参画した若手メンバー



以下の測定機条件での測定
・国際規格ISO 5-3 statusT ・D50光源 ・2度視野
濃い「黒」の画質を実現

お客様とともに

期待に応える設計品質

お客様に評価され選ばれる製品をご提供するために

お客様視点を製品の隅々にまで反映する「顧客品質基準」の考え方

世界中の国や地域でご利用いただいているブラザー製品は、その設置環境や使用方法が多様になっています。また、お客様のライフスタイルの変化に伴い、製品に対する期待も日々変化しています。

品質保証担当部門では、市場で起きた様々な問題に関わる情報をデータベース化したり、競合他社の新製品を評価したりして、そこから得られた情報から製品の品質基準と評価方法を構築しています。

さらに、お客様が安心して製品を使い続けることができるように、その対策を設計段階から織り込み、ブラザーらしさを体感していただける製品づくりをしています。

この目標値を明文化したものが「顧客品質基準」であり、製品開発にブラザーグループのモットーである"At your side."の精神を反映したものです。

「顧客品質基準」は固定されたものではなく、修理依頼やコールセンターに寄せられる情報、あるいは製品に対するお客様の期待の変化に伴い、常に精査して見直しを図っています。

お客様視点に基づく「お客様ご迷惑率」という考え方

ブラザーグループでは、お客様から返品または修理のために戻ってくる製品の割合を「お客様ご迷惑率」と呼んでいます。これは、どんな小さな不具合でも、そのためにご負担いただかなければならない時間や手間は、お客様にとって「ご迷惑以外の何ものでもない」という考え方によるものです。

不具合発生を限りなくゼロに近づけるため、それがなぜ起こっているのかを究明し、開発設計・製造・物流・販売・サービスなど各部門が一体となって品質向上活動を続けています。

お客様とともに

期待に応える設計品質

常識を打ち破る開発メンバーの挑戦

最新の本縫いミシンで布送り機構の電子化と段部検出センサーの搭載を実現

縫製工場などで最も使用されている工業用ミシンは、直線縫いを行う本縫いミシンです。その構造は、部分的に改良が加えられてきたものの、誕生以来、大きく変化していませんでした。

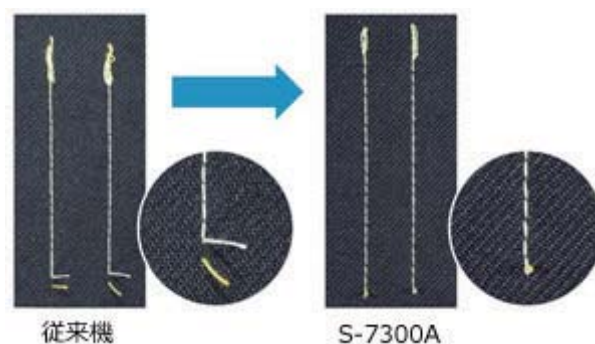
本縫いミシンは、針が高速で動くため、針動作と布送り動作をそれぞれ単独でコントロールすることが難しく、布送り機構の電子化は技術的に不可能とされてきました。しかし、数年前から、より高い生産性を実現するために要素技術の研究を進め、最新の本縫いミシン「NEXIO(ネクシオ)S-7300A」では、針動作の駆動モーターから布送りの機構を切り離し、布送りを単独モーターで駆動させることで送り歯の動きを自在にコントロールできる布送り機構の電子化を実現しました。

この技術により、縫製する生地に合わせて高い縫製品質を提供できるようになりました。さらに糸きり機構も一新し、縫製物の糸残りの長さを短くおさえることで縫製工場の糸摘み工程の削減に貢献できるようになりました。

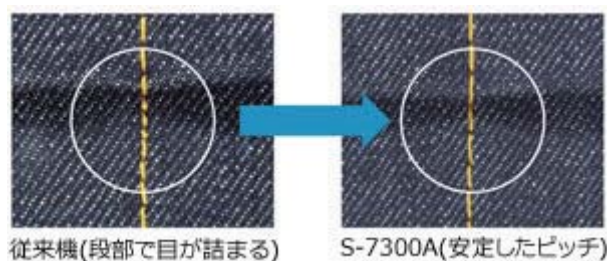
布が重なる部分(段部)の縫製は、従来、針折れや縫い目の詰まりが起きやすいため、作業者は縫製速度を大幅に落としていました。しかしその作業には熟練が必要で、不良の発生に伴う生産性低下にもつながっていました。そこで、段部を自動で検知する段部検出センサーを搭載し、段部では自動で縫製速度を緩め、布送りの動きと針の縫い目幅を補正する制御を可能にしました。

この制御によって、縫い目の縮み・針折れを抑え、さらに、非熟練者でも均一できれいな縫い目に仕上げることができるようになりました。

ブラザーグループは、これからもお客様が喜ぶ顔をどんな技術で実現するか、どんな製品でお客様の役に立つことができるかを常に考えながら価値創造に取り組んでいきます。



余分な糸残りを減らし、生産性向上に貢献



縫製時の目詰まりを低減

お客様とともに

販売・サービス体制

お客様の声に耳を傾けることで生まれる対応力と連携

事業環境にあわせ、自ら変化できる企業であり続ける

多様化するツールや市場、お客様の行動の変化など、事業環境はめまぐるしく変化しています。これに対応していく上で大切なのが「柔軟な対応力」と「パートナーとの連携」だと考えています。

お客様の声に耳を傾け、これまで培ってきた技術や知見、販売ルートやノウハウを生かしつつ、足りない部分や経験の浅い分野には、パートナーと適切に連携しながら柔軟に対応していきます。

そうすることで自ら変化できる企業であり続けたいとブラザーは考えています。

販売子会社とともに新たな市場を開拓

設計担当者が直接お客様の要望を伺い、その場で提案を行う体制を構築

現在ブラザーでは、法人向けビジネスに力を入れています。規模や業態が異なる法人のお客様の要望は千差万別です。

従来はすべての要望を営業担当者を中心にブラザー販売株式会社(以下、ブラザー販売)の技術サポートが受け、ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)の設計担当者に伝えていました。そのため、お客様の要望を製品の仕様に反映するまでに時間がかかる、要望の背景が脱落することで微妙に要望とずれてしまうことがありました。

そこで、2016年からは、メーカー側であるブラザー工業の設計担当者がブラザー販売の技術サポートと協力しながら直接お客様の要望を伺い、その場で技術的に適切な提案を行う体制を整え、個別の質問に迅速に回答できるようにしました。

また、商品の試験導入において、お客様自身も事前に想定できなかった不具合が確認された場合でも、設計者が直接現場に伺い不具合を確認し、解析、改善までの時間を短縮できます。

販売現場とブラザー工業が協働して、法人のお客様との情報共有を積み重ねることによって、信頼関係が構築され、法人向け大型受注につながっています。



営業と設計担当者による訪問前の打合せ



設計者がお客様のもとに出向いて確認

お客様とともに

販売・サービス体制

デジタルマーケティングの推進

製品・サービスごとに価値をお伝えしたいお客様像を描き、お客様一人一人に合ったより快適なデジタル体験を提供

商品やサービスの購入におけるお客様の行動は、デジタルテクノロジーの進化に伴い大きく変化しており、各企業の商品販売促進活動もインターネットを介したのものや、PCやスマートフォンなどのデジタル機器を利用したものへと移行しています。

そうした環境の中、ブラザーグループは、お客様一人一人に合ったより快適なデジタル体験を提供し、お客様との長期的な信頼関係を構築するためのデジタルマーケティング活動をこれまで以上に推進しています。グローバルに活動を統括するグループを立ち上げ、世界各地のデジタルマーケティング推進チームと連携を図りながら、優れたナレッジの共有やグローバル戦略の立案を行っています。

ブラザーグループは、お客様に合ったデジタル体験を提供するためには、お客様に対する深い理解が必要と考えています。製品・サービスごとに価値をお伝えしたいお客様像を描くことで、お客様にご満足いただける情報や、お届けするための適切なコミュニケーション方法・タイミングを検討しています。

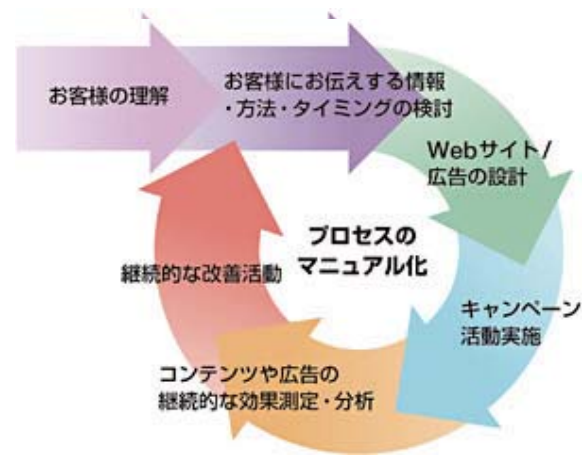
その実現手段として自社Webサイト内のコンテンツの作成や導線の設計、インターネット上での広告配信などを実施しました。

実施後は、製品・サービスの価値が、作成したWebサイトや広告を通じてお客様にお届けできているかを継続的に測定し、改善を図るとともに、これら一連のプロセスをマニュアル化し、グローバルに共有・活用しています。

ブラザーグループは、これからもお客様に快適なデジタル体験を迅速に提供するため、グループ一丸となってデジタルマーケティング強化に取り組んでいきます。



インクジェットプリンタの印刷コストにご関心のあるお客様向けデジタルコンテンツ(アメリカ販売会社Webサイト上の動画の1シーン)



デジタルマーケティングプロセス

従業員とともに

多様な人材の確保

雇用・処遇に関する基本方針

多様な人材が能力を発揮できる制度・環境を整備

ブラザーグループは、40以上の国と地域に生産拠点や販売・サービス拠点を設け、世界中のお客様に製品やサービスをお届けしており、人種・言語・文化・習慣など、事業を取り巻く環境がさまざまに異なる中で、全従業員がグローバルチームブラザーの一員として、日々活躍しています。

その基盤となるのが「ブラザーグループグローバル憲章」(以下、グローバル憲章)の「基本方針」に掲げた「従業員の多様性を重視し、さまざまな能力を発揮できる職場環境とチャレンジングな仕事への機会を提供する。そして、努力と成果に対しては、公正な評価と正当な報酬で応える」という考え方です。また、グローバル憲章の行動規範では「常に一人ひとりの人格、多様性を尊重し、信義と尊敬を持って行動する」ことを定めています。ブラザーグループ各社は、これらの考え方に基づいて、採用・評価・昇進などにおいて、民族・国籍・宗教・思想・性差・学歴・年齢・障がいの有無など、あらゆる差別を排除することを目指し、また、児童労働や強制労働を禁止しています。今後も経営層と従業員が一体となって、関連法規、規則の順守はもちろん、各自の文化や慣習を尊重し、グローバル憲章に基づいた人事制度の進化、職場環境の継続的な改善に取り組んでいきます。

公正な評価と処遇を目指した目標管理制度

ブラザーグループは、意欲・能力・成果を公平・公正に評価して処遇に反映するための体制を構築しています。例えばブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)では、一般従業員については、明確な評価基準に基づく目標管理制度のもと、納得性の高い評価を実施しています。評価の結果は被評価者に公開し、その後の面談においてその評価理由を伝えています。こうすることで、従業員が自らの仕事を振り返り、新たな目標に向かって成長していくためのモチベーションも高まるため、人材育成にもつながっています。管理職に関しては、年俸制を採用しています。

従業員とともに

多様な人材の確保

多様な人材を確保するために

女性管理職の登用を推進

女性管理職については、各国・各地域で、女性の社会進出の歴史、生活文化、主な職種などが異なるため、全管理職者数に対する比率に差はあるものの、2016年度(2017年3月31日時点)は、珠海兄弟工業有限公司(中国)においては管理職として活躍する女性が増加しています。

ブラザーグループの女性管理職者数と比率

社名[国]	2016年3月		2017年3月	
	数	比率	数	比率
ブラザー工業株式会社[日本]	27名	3.4%	28名	3.4%
ブラザー販売株式会社[日本]	2名	2.4%	2名	2.3%
兄弟高科技(深圳)有限公司[中国]*	25名	31.3%	43名	32.3%
珠海兄弟工業有限公司[中国]	15名	57.7%	22名	62.9%
兄弟機械(西安)有限公司[中国]	2名	8.3%	2名	6.9%
ブラザーインターナショナルコーポレーション(U.S.A.)[アメリカ]	87名	39.0%	76名	35.8%
ブラザーインターナショナル(ヨーロッパ)Ltd.[イギリス]	7名	15.6%	7名	15.6%
ブラザーU.K. Ltd.[イギリス]	14名	37.8%	14名	35.0%
兄弟(中国)商業有限公司[中国]	9名	28.1%	9名	28.1%
ブラザーインターナショナル(ドイツ)GmbH[ドイツ]	5名	16.1%	6名	18.8%
ブラザーフランスSAS[フランス]	14名	41.7%	13名	37.1%
ブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.[ベトナム]	34名	36.6%	37名	35.6%

*: 2016年11月、兄弟高科技(深圳) 有限公司は兄弟工業(深圳) 有限公司と統合しました。

従業員とともに

多様な人材の確保

多様な人材を確保するために

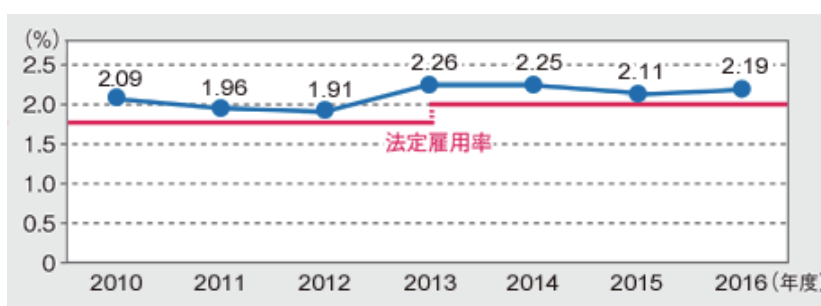
女性管理職比率の推移(ブラザー工業株式会社)



障がい者の雇用推進と活躍支援

日本では一定規模以上の企業に総従業員数の2.0%以上の障がい者雇用が法律で定められています。ブラザーグループは、障がい者雇用の促進により、障がいを持つ従業員もそれぞれの適性・能力に合った職種・職場で活躍しています。また、2013年4月に障がい者法定雇用率が引き上げられましたが、ブラザー工業はそれ以降も法定基準を満たす雇用率を維持しており、2016年度の雇用率は2.19%となっています。

障がい者雇用率の推移(ブラザー工業株式会社)



ブラザー工業は、グローバル憲章の「行動規範」にある「個人に対する信義と尊敬」に基づき、障がいの有無に関わらず、従業員同士が理解を深め、連携を強化して個々の能力を最大限に発揮できる職場環境をつくっていく方針を引き続き展開しています。

2016年4月に改正された「障害者の雇用の促進等に関する法律」施行に合わせ、法律の概要と考え方を学ぶeラーニングや、具体的な行動を促進するためのブラザーグループ内のジョブコーチによる学習の場を設けています。また、障がいを持つ従業員から相談を受けるなどの役割を担う、「障害者職業生活相談員」を各工場の従業員から選任し、相談員を対象にした継続的な知識向上プログラムを、外部講師を招き実施しています。このように、障がいを持つ従業員を職場全体で理解しサポートできる体制を構築しています。

従業員とともに

多様な働き方の支援

ダイバーシティを推進するために

ブラザーグループは、従業員が多様なライフスタイルを選択できるよう、各国・各地域の法律、労働環境、従業員の状況を踏まえ、多様な働き方を支援しています。「真のグローバル企業」として、能力、人格、資質、行動に優れた人材が国境を越えて、適材適所に配置され、グループを牽引できるよう、制度の充実や従業員の意識改革活動を行い、ダイバーシティの推進に取り組んでいます。

ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)は、これまでの取り組みが評価され、経済産業大臣が表彰する平成27年度「新・ダイバーシティ経営企業100選」を受賞しました。これからも性別・国籍・障がいの有無にかかわらず、さまざまな能力を発揮できる職場環境とチャレンジングな仕事への機会を提供していきます。



「新・ダイバーシティ経営企業100選」ロゴマーク

社外からの評価

認定先	認定年度	認定名
経済産業省	2015	 「新・ダイバーシティ経営企業100選」
厚生労働省	2011	 「次世代育成支援対策推進法」認定事業主"くるみん"マーク
	2014	「ファミリー・フレンドリー企業部門」厚生労働大臣優良賞
愛知県	2012	 「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」特別賞
	2015	 「あいち女性輝きカンパニー」認証
名古屋市	2011	 「名古屋市女性の活躍推進企業」認定
	2011	 「名古屋市子育て支援企業」優秀賞

従業員とともに

多様な働き方の支援

女性活躍推進のための活動

ワーキンググループ「Teamあじさい」が、課題を明確にして施策を提言

ブラザー工業で働く全ての女性が、さまざまな能力を発揮して今以上に活躍できる職場環境の実現を目指し、女性従業員で構成するワーキンググループ「Teamあじさい」を2014年度に立ち上げ、2016年度からは、さまざまな立場から議論を行えるよう新たに男性をメンバーに加えました。「Teamあじさい」では、女性の活躍を推進していくための課題を明確にし、その課題に対する施策を提言しています。

ブラザー工業は、提言に基づいて『女性活躍推進に関する宣言』や、『女性活躍推進に関する行動計画』の策定、在宅勤務制度の導入、有識者を招いての講演会を積極的に行っています。提言の中には、社内のロールモデルとなる従業員のキャリアを知りたいとあり、イントラネット上で社内の女性管理職のこれまでのキャリアを紹介したり、少人数の社内座談会「キャリアコミュニティ」を実施したりしています。また、キャリア形成のための海外勤務経験の必要性も挙げられ、若手従業員が海外での業務経験を積めるトレーニー制度の積極的活用を推進しています。



「Teamあじさい」メンバー



キャリアコミュニティ



トレーニー制度利用者の声

相互理解を深めながら、課題解決に取り組む大切さを学ぶ貴重な経験

ブラザー工業株式会社 SMB・S&S推進部
富田 茉実

入社3年目の2015年11月から3カ月間、上海の販売会社にトレーニーとして滞在しました。当時は人事部に所属していたこともあり、現地では中国のビジネスの現状や人事施策を学びながら、社内研修の企画に取り組みました。そのプロセスを通じて、日本とは異なる仕事の進め方や考え方がある一方で、日本と共通の課題があることにも気づきました。試行錯誤の末、企画の合意に至ったことは、異文化環境下であっても、対話を重ねて相互理解を深め、相手と同じ目線で課題解決に取り組むことの大切さを学ぶ貴重な経験となりました。トレーニーで吸収した多様な知見とバランス感覚、多くの人たちとの出会いを糧として、今後の業務に励んでいきたいと思っています。

▶女性活躍推進に関する宣言

http://positiveaction.mhlw.go.jp/declaration/add/search_detail?id=1346

▶女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画(ブラザー工業株式会社行動計画) [PDF/308KB]

http://download.brother.com/pub/jp/csr/pdf/diversified_plan.pdf

▶次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画(ブラザー工業株式会社行動計画) [PDF/281KB]

http://download.brother.com/pub/jp/csr/pdf/diversified_plan2.pdf

従業員とともに

多様な働き方の支援

女性活躍推進のための活動

主な施策

<p>2014年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進のためのワーキンググループ「Teamあじさい」発足 ・社長と、女性の活躍について語る会 ・上司と女性部下のための、キャリア支援研修開始（継続実施中） ・育児休職からの復職支援セミナー ・管理職対象の、女性活躍推進のための講演会 ・イントラサイトに女性管理職のキャリアを紹介する「Career Rainbow」ページ新設 	 <p>社長と、女性の活躍について語る</p>
<p>2015年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務制度の導入 ・役員と、女性の活躍について語る会 ・管理職対象の、女性部下育成のための講演会 ・女性従業員対象の、キャリア支援講演会 ・女性技能職対象の、キャリアを考える他社交流会 	 <p>キャリア支援講演会</p>
<p>2016年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社内の先輩従業員を囲んだテーマ別座談会「キャリアコミュニティ」 ・女性のためのがんセミナー ・社長によるブラザーの女性活躍に関する社外講演会 ・女性キャリアを考える他社交流会 	 <p>社長による社外講演会</p>

従業員とともに

多様な働き方の支援

仕事と生活の両立支援

制度の拡充と取得しやすい雰囲気づくり

ブラザー工業は、従業員が安心して生き活きと働き続けられるために、フレックスタイム勤務や、育児や介護のための休職、短時間勤務、看護休暇などワークライフバランスを支える各種制度を整備しています。2015年度には、育児や介護などを行う従業員を対象とした在宅勤務制度を導入し、柔軟な働き方の選択肢を増やしました。

同時に、従業員の意見を取り入れ、制度が使いやすくなる工夫や社内での理解を進める雰囲気づくりにも注力しています。

2011年度からは、いずれ訪れる大介護時代に備えた仕事と介護の両立を考えるセミナーを、2014年度からは、育児休職からの復職支援セミナーを行っています。

2016年度は社内の先輩従業員を囲んだテーマ別座談会「キャリアコミュニティ」やがんに関する正しい知識を持ち、元気に長く働き続けるための「女性のためのがんセミナー」などを従業員が参加しやすい勤務時間内に開催しています。



女性のためのがんセミナー

ブラザー工業株式会社の各制度の利用者数*1

	2014年度	2015年度	2016年度
育児休職*2	45名(9)	57名(12)	60名(17)
介護休職*2	3名(0)	0名(0)	5名(3)
育児のための短時間勤務	130名(5)	155名(11)	153名(5)
介護のための短時間勤務	1名(1)	1名(1)	2名(1)
看護休暇	27名(11)	29名(7)	31名(8)
在宅勤務制度	-	29名(6)	41名(8)

*1: ()内の数字は男性の利用者数 *2: 各年度での取得開始者数



在宅勤務制度利用者の声 集中力を高めて計画的に業務を遂行

ブラザー工業株式会社 開発企画部
川添 優美子

制度導入時から、週に1日の在宅勤務をしています。夫が海外で単身赴任をされており、仕事と2人の子どもの育児を両立するために、在宅勤務制度を利用できることは、とても助かります。集中力を高めて計画的に業務を行うため、これまで以上に上司や同僚とのコミュニケーションを意識して、仕事に取り組んでいます。

従業員とともに

人材育成

グローバルな人材育成に向けて

従業員の多様性と個性を尊重し、優れた価値を提供できるグローバルな人材を育成

ブラザーグループは、「ブラザーグループ グローバル憲章」の「従業員」の項目に示しているように

- (1) 従業員の持つ多様性の尊重
- (2) 従業員による、さまざまな能力の発揮
- (3) チャレンジングな仕事の提供

を重視しています。そして各国、各地域、各事業に則した人材育成と関連制度の充実を図ることが、従業員の長期にわたる才能・スキルの発揮に結びつくと考え、育成環境の整備とさまざまな制度の構築を進めています。

取り組みの一環としてこれまでに、海外拠点のマネジメント層を育成する研修の実施や、日本の若手従業員を対象とするトレーニー(訓練生)の海外派遣など、早期に複数の国で経験を積む制度を実施しています。

ブラザーグループは、これからも各国・各地域の人材育成の情報をグループ全体で共有し、グローバルに計画的・長期的な人材育成を進めていきます。

グローバルに取り組む海外拠点のマネージャー育成

現場のニーズに寄り添った管理職養成研修を実施

ブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.(以下、BIVN)では、次期マネージャー候補者の早期育成を目的として、2014年から管理職養成研修を実施しています。この研修は、「工場運営を担うベトナム人マネージャーを育てたい」というBIVNの要請を受けてブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)が支援する体制で始まりました。

2015年度は第二期として9名、第三期として10名、2016年度の第四期には8名が選抜され、研修に取り組みました。

約半年間の研修では、まず360度サーベイで受講生自身の強みや弱み、上司からの期待を把握し、その後、チームマネジメントや部門間連携、部下指導などを学びます。同時に、自身の課題を克服するため、行動改善計画シートを作成して業務のなかで実行し、上司との面談を重ねて行動を改善していきます。

受講生の上司からは、「管理職養成研修を通じて、自分の業務範囲だけでなく、広い範囲や他部門にも目を向けられるようになったと感じています」という声が届いています。こうした取り組みは、ブラザーインダストリーズ(サイゴン)Ltd.とブラザーインダストリーズ(フィリピン)Inc. でも行われ、これまでにBIVNと合わせて計90名のマネージャー候補生が参加しています。受講生は、「分かる」と「できる」の壁を感じながらも、自分の小さな行動や心がけが周囲とのコミュニケーションを円滑にしていくことに気づき、管理職として会社をけん引していく意識を高めています。

ブラザーグループは、これからもグループ全体で長期的な人材育成に取り組んでいきます。



研修でディスカッションする受講生たち



上司への研修成果報告会

従業員とともに

人材育成

さらなる成長を目指し、次世代リーダー育成プログラムを実施

継続的に"学び"を得られる体制を構築

アジア・パシフィック(以下、AP)地域は、設立から日の浅い販売拠点が比較的多く、ブラザーグループの歴史や文化、拠点間の横の繋がりを実感できる機会を増やし、グループの力を最大化する取り組みを行っています。

AP地域の販売会社を統括するブラザーインターナショナル株式会社(以下、BIC(J))が主体となりAP地域の国や地域を超えた人材育成のため、2014年から次世代リーダー育成プログラム(以下、GLP)を実施しています。

GLPは、集合研修とそのため事前課題や、集合研修後の数か月間にわたり実施する各拠点独自のプロジェクトで構成され、継続的に"学び"を得られる体制を構築し、経験を積み重ねることを目的としています。

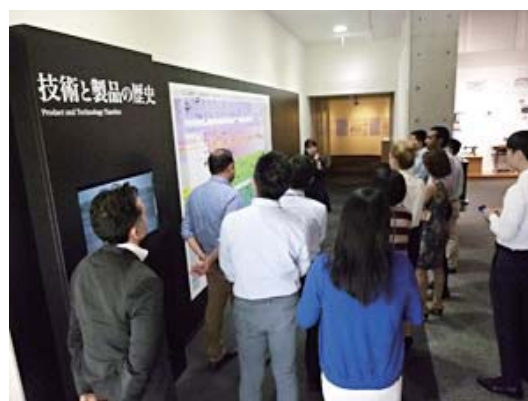
2016年10月には、7拠点(韓国、台湾、香港、日本、インド、アラブ首長国連邦、トルコ)の18名が参加し、日本で3日間の集合研修を実施しました。参加した従業員は、初めて日本の本社を訪問する人も多く、ブラザーグループの歴史やDNA、技術の変革によって生み出してきた製品について学ぶとともに、各拠点の取り組みや課題をもとに、組織のあり方、チャレンジやリーダーシップを発揮する行動について考えました。

国や地域を越えた参加者が議論し、APの将来ビジョンとその実現に向けた提言をBIC(J)経営層に向けて発表したり、自身の行動計画の策定と宣言を行うなど、3日間を通してブラザーグループとしての一体感を高めました。

研修後に各拠点で行う独自のプロジェクトでは、財務などの専門知識の勉強会や管理部門の従業員への製品トレーニングなど、部門の枠を超え組織力を高めていく活動を展開しています。

参加者からは好評で「GLPに参加することによって、他の国や地域のメンバーと交流の機会をもち、グローバルに展開するブラザーグループとしての繋がりを確認できました。また、事前課題や事後のプロジェクトで拠点内の上司や部下、同僚とのチームワークも深まっています」というコメントが届いています。

ブラザーグループは、これからもDNAを伝承し、未来永劫の繁栄に向けて次世代の人材育成に取り組んでいきます。



ブラザーグループの技術と製品の歴史を学ぶ



国や地域を越えて議論

従業員とともに

安全衛生・防災

グローバルな安全衛生・防災の仕組みづくり

中央安全衛生防災委員会を中心に継続的に活動

ブラザーグループは、『安全第一』は、全ての活動の基本である。全ての従業員が安全に安心して健康に働ける快適職場となるように努めるとともに、安全文化を定着させる」という「基本方針」を定め、ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)の中央安全衛生防災委員会を中心に業務上の災害・疾病の防止や快適職場づくりに継続して取り組んでいます。



グローバル安全防災大会
(ゼロ災でいこうヨシ!を全員で唱和)

安全衛生・防災活動の推進

中央安全衛生防災委員会事務局であるブラザー工業人事部安全防災グループは、各生産拠点の安全衛生・防災担当者とともに活動を推進しています。

安全衛生面では、安全衛生委員会の設置、安全衛生パトロール、災害発生時の再発防止対応、職場の潜在的リスクを計画的に低減するリスクアセスメント活動などを行っています。

防災面では、万が一災害が発生した場合に被害を最小限にとどめるための防災組織の整備や、防災訓練(避難訓練、初期消火訓練、AEDを使用した救命講習)、法令に基づく消防設備点検を各工場で実施しています。2007年には、地域や行政機関との間で大規模災害発生時における支援協力に関する覚書の締結を行い、共助による地域防災力の強化を推進しました。覚書を締結した近隣の保育園と2014年から継続して合同避難訓練を実施するなど、地域住民の皆さんとの協力関係を築き、地域社会の期待に応えられる防災活動に取り組んでいます。



近隣の保育園との合同避難訓練

従業員とともに

安全衛生・防災

グローバルに安全衛生・防災活動を推進

新生産拠点に注力して推進

ブラザー工業人事部安全防災グループは、2006年度から、海外生産拠点と連携し、安全衛生・防災活動を推進しています。

2009年度末に、海外の主要生産拠点の安全衛生・防災水準が国内とほぼ同じレベルとなったため、2010年度からは、海外生産拠点が自立して安全衛生・防災活動を実施できるよう支援しています。

2013年度からは、その年の4月に生産を開始したブラザーインダストリーズ(フィリピン) Inc.(以下、BIPH)とブラザーインダストリーズ(サイゴン) Ltd.(以下、BISG)を新たな支援先に加え、従業員に対する教育や職場の安全パトロール、安全ルール集の策定などを行いました。また、2014年5月に生産を開始したブラザーマシナリー(ベトナム)Ltd.についても、安全衛生・防災水準向上のための支援活動を2014年度から積極的に展開しています。

2016年度は、BIPHやブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.などがゼロ災害を達成しました。

2008年度からは、国内外の拠点関係者を集め「グローバル安全防災大会」を開催しています。災害発生の少ない工場や安全活動が優秀な工場、長年にわたる功労者への表彰、各工場の活動事例の共有を行い、安全衛生活動の推進に努めています。



中央安全防災委員長による現場巡視



整理・整頓が徹底された工場(BISG)

生産拠点労働災害件数



ブラザーグループは、これからも従業員がより一層、安全で安心して働くことができる職場を目指して、継続的かつ積極的に安全衛生・防災活動を推進していきます。

従業員とともに

健康経営の推進

「ブラザーグループ健康経営理念」を制定し、従業員の健康管理を推進

健康経営推進体制を構築

ブラザーグループは、モノ創りを通して優れた価値を創造し、世界中のお客様に製品やサービスを提供するため、全ての従業員がグローバルに日々活躍しています。

その活動の基盤となる「基本方針」と「行動規範」が定められた「ブラザーグループグローバル憲章」に示されているように、従業員が長年にわたり才能とスキルを発揮するためには、一人ひとりの健康管理が重要であると考えています。

2016年9月、ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)はブラザーグループ健康経営理念(以下、健康経営理念)を制定しました。

今後は新たに設置した最高健康責任者(CHO:Chief Health Officer)のもと、健康経営理念に基づき、さまざまな活動に戦略的に取り組んでいきます。

ブラザーグループ健康経営理念

ブラザーグループは、従業員一人ひとりの心身の健康こそ大切な「財産」ととらえ、『明るく・楽しく・元気に』、生き活きとさまざまな能力を発揮できることが、グループの成長につながると考えています。

従業員一人ひとりが健康であることは、ブラザーグループの継続した発展の礎であるとともに、健康寿命の延伸など社会の要請に応えるものです。

健康経営の実現のため、会社・労働組合・健康保険組合が一体となり、従業員の健康の保持・増進に戦略的に取り組みます。

ブラザー工業株式会社
代表取締役社長
最高健康責任者
小池 利和

従業員とともに

健康経営の推進

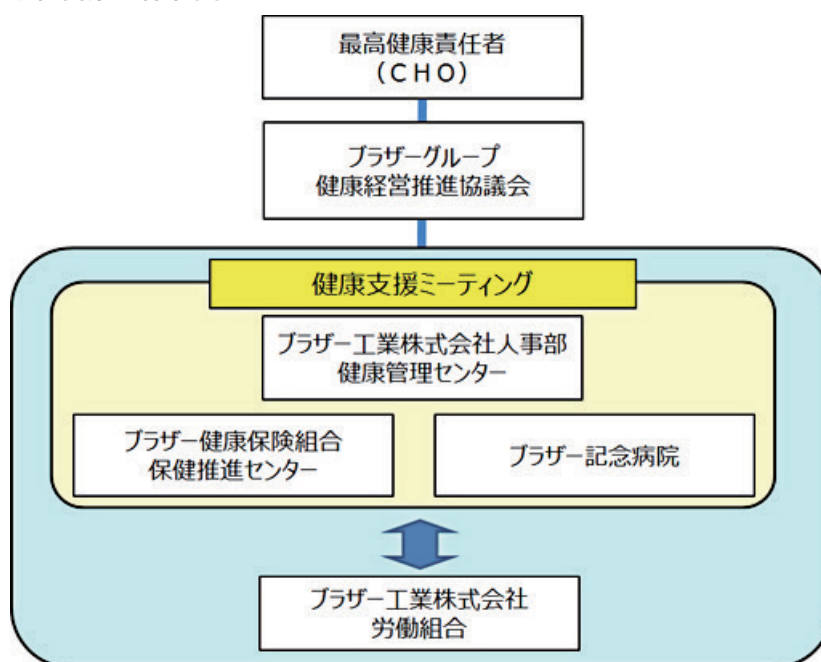
「ブラザーグループ健康経営理念」を制定し、従業員の健康管理を推進

健康経営推進体制

健康経営推進体制を構築し、PDCAサイクルを回して、今まで以上に効果的・効率的な従業員の健康の保持・増進活動を展開していきます。

まずはブラザー工業および国内のグループ会社から活動を推進し、順次海外のグループ会社に展開する予定です。

ブラザーグループ健康経営推進体制図



ブラザーグループ健康経営推進協議会

ブラザー工業および国内のグループ会社の安全衛生担当責任者が年1回集まり、従業員の健康に関する課題を抽出し、次年度の活動方針を決定します。

2016年度は3月に実施し、生活習慣病の予防、メンタルヘルス対策、禁煙支援、ヘルスリテラシーの向上など、それぞれの課題に対して目標を決めました。

健康支援ミーティング

ブラザーグループ健康経営推進協議会で決定した方針に従い、数値目標達成のための具体的な活動内容を決め、実施方法の検討とその結果の評価を行います。ブラザー工業人事部健康管理センターとブラザー健康保険組合の保健推進センターおよびブラザー記念病院が連携し、労働組合と協働したイベントの開催など健康の保持・増進のための活動を推進していきます。

従業員とともに

健康経営の推進

「ブラザーグループ健康経営理念」を制定し、従業員の健康管理を推進

従業員の健康管理(2016年度 ブラザー工業株式会社)

定期健診	受診率	100%*1
	35歳以上の従業員を対象とする総合健診の受診率	95.5%*2
	有所見率	55.0%
	2次検査受診率	77.0%
特定健診*3	受診率	98.1%*4
	メタボリックシンドローム率	11.0%
生活習慣病	糖尿病	5.2%*1
	高血圧	7.7%*1
	脂質異常症	12.1%*1
喫煙率		17.2%*1
ストレスチェック	受診率	99.6%*1
	高ストレス率	5.6%
ブラザー健康生活月間	参加率	32.4%*1
	満足率	95.0%
従業員1人当たりの医療費総額の平均		111,856円

*1: ブラザー工業従業員に対する割合

*2: 35歳以上のブラザー工業従業員に対する割合

*3: 厚生労働省が定める健診

*4: 特定健診の対象従業員に対する割合

従業員とともに

健康経営の推進

心身の健康の保持・増進

グループ全体の健康の保持・増進を目指して

ブラザー工業は、健康管理センターを設置し、グループ従業員の健康管理やメンタルヘルス対策、健康づくりに力を入れています。ブラザーグループの各国、各地域の拠点では、産業医を配置もしくは医療機関と提携し、従業員の心身の健康の保持・増進に取り組んでいます。

健康管理センターの産業医と保健師は2016年度、生産拠点である、珠海兄弟工業有限公司、ブラザーインダストリーズ(サイゴン)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(フィリピン)Inc.(以下、BIPH)を訪問し、出向者に対する健康面談やメンタルヘルス教育を実施するとともに、生活環境のヒアリング、近郊の医療施設の視察による医療情報の収集、提供を行いました。また、出向者の医療機関の受診予約の代行や通訳、重症疾患発症時のサポートをしてくれる医療サポートサービス会社と情報交換を行いました。



現地の医療施設



BIPHの医療スタッフと産業医

心の健康づくり ～予防・早期発見・発症者フォローまで～

ブラザー工業は、健康管理センターが設立された翌年の2007年から従業員に対する継続的なメンタルヘルス教育を行っています。

自らストレスに気づき適切な対処ができること(一次予防)、不調者の早期発見・早期対応ができること(二次予防)を目指しています。特に一次予防につながるセルフケア講習は、全従業員が受講し、実際に社内で起きた事例を題材に体調管理の方法やストレスとの付き合い方について考える内容です。

2014年度の労働安全衛生法の改正に伴い「ストレスチェック」を導入し、ストレスへの気づきを強化しています。病気を発症した後も自分らしく働き続けることができるよう、復職支援(三次予防)にも各職場と協力し取り組んでいます。



セルフケア講習

2016年度には「第3期ブラザーメンタルヘルス 5か年計画」を策定し、不調者の早期発見やフォローだけでなく、不調者が発生しにくい企業風土の醸成やストレスをためにくい快適な職場作り、さらに生き生きと働くことができるように従業員のモチベーション向上など、ポジティブなメンタルヘルス対策を行っています。

これは法令の基準を超えた「攻めの健康づくり」で、これまでの疾病管理モデルをより拡大した、人材育成やキャリア開発、職場づくりを含めた人材戦略モデルに基づく施策です。従業員と各職場、そして健康管理センターが一丸となり、一人ひとりが心の健康を保ち、愉快地働きがいをもって働くことを目指し、対策を継続・強化していきます。

従業員とともに

健康経営の推進

心身の健康の保持・増進

従業員の健康づくりをサポート

健康管理センターは、毎年10月～11月を「ブラザー健康生活月間」とし、健康保険組合・労働組合・人事部安全防災グループと協力しさまざまな取り組みを行っています。

2016年度は、ブラザー工業の大規模な組織変更があったため、職場のコミュニケーション促進を目的に「こころが伝わるコミュニケーション術～元気な職場を作ろう～」と題した健康教室を、各職場で開催しました。

このように、状況に合わせた内容で健康教室を行い、病気の予防と健康の保持・増進を目指しています。

また、メタボリックシンドローム・疾病予防の支援や禁煙サポート・受動喫煙防止のための活動を継続して行っています。従業員の受動喫煙を防止するために2016年度から、ブラザー工業のすべての建物内を禁煙にしました。今後は、敷地内全面禁煙の実現に向けて、喫煙者への禁煙サポートを強化していきます。



健康生活月間の案内



屋外の喫煙所

2017年2月、ブラザー工業はこれまでの健康管理活動が評価され、経済産業省と東京証券取引所が共同で選出する「健康経営銘柄2017」に上場企業608社の中から選定されました。



「健康経営銘柄2017」のロゴマークと発表会

ブラザーグループは、これからも従業員の心身の健康の保持・増進のための取り組みを推進していきます。

ビジネスパートナーとともに

CSR調達の推進

お取引先とともにCSR調達を推進

「調達方針」と「CSR調達基準」を公開

ブラザーグループは、部品・材料を調達するお取引先の皆さまにCSR調達の考え方を共有するため、「調達方針」と「CSR調達基準」を公開しています。「調達方針」と「CSR調達基準」は、環境に配慮した部品・材料を優先的に購入する「グリーン調達」に加えて、人権・労働、安全衛生、公正取引・倫理、品質・安全性、情報セキュリティ、社会貢献などの分野にも広がっています。

ブラザーグループは、お取引先の皆さまとともにCSR活動を推進していきます。

調達方針

- ・すべてのお取引先に対して、公平・公正な取引を行います。
- ・活動する国や地域における関連法規、規則を順守し、お取引先と相互信頼関係を築いて、成長し合うことを目指します。
- ・地球環境に配慮したグリーン調達を推進し、製品のライフサイクルを通じた環境への負荷を低減します。
- ・あらゆる場面でお客様を第一に考え、優れた品質と適正なコストの追求に努めます。
- ・紛争鉱物*問題を重要な課題としてとらえ、責任ある鉱物調達の実践に取り組みます

*: 紛争地域で不当な方法で採掘された鉱物。その取引は武装勢力の資金源となり、紛争地域での人権侵害、労働問題、環境破壊等への関与が指摘されています。

CSR調達基準 (お取引先へのお願い)

- ・すべての人の基本的人権を尊重し、不当な労働の強制、児童就労などは行わないでください。
- ・従業員の安全と健康を確保し、安全で働きやすい職場環境づくりに取り組んでください。
- ・地球環境への配慮に前向きに取り組んでください。
- ・関連法規、規則を順守し、公平・公正で最高度の倫理感を持った取引を行ってください。
- ・お客様に安全かつ優れた品質の製品をお届けするための仕組みづくりに、取り組んでください。
- ・情報管理体制を構築し、個人情報、機密情報を、適切に管理してください。
- ・地域社会に対する社会的・経済的・文化的責任を可能な限り分担することにより、よき企業市民となるよう努力してください。
- ・紛争地域において不当な方法で採掘された鉱物を、原材料として使用しないよう努力してください。

▶ 英語版 調達の方針・基準

<https://global.brother/en/csr/stakeholder/partner/csr#c02>

▶ 中国語版 調達の方針・基準 [PDF/111KB]

<http://download.brother.com/pub/com/en/csr/partner/policy-cn.pdf>

ビジネスパートナーとともに

CSR調達の推進

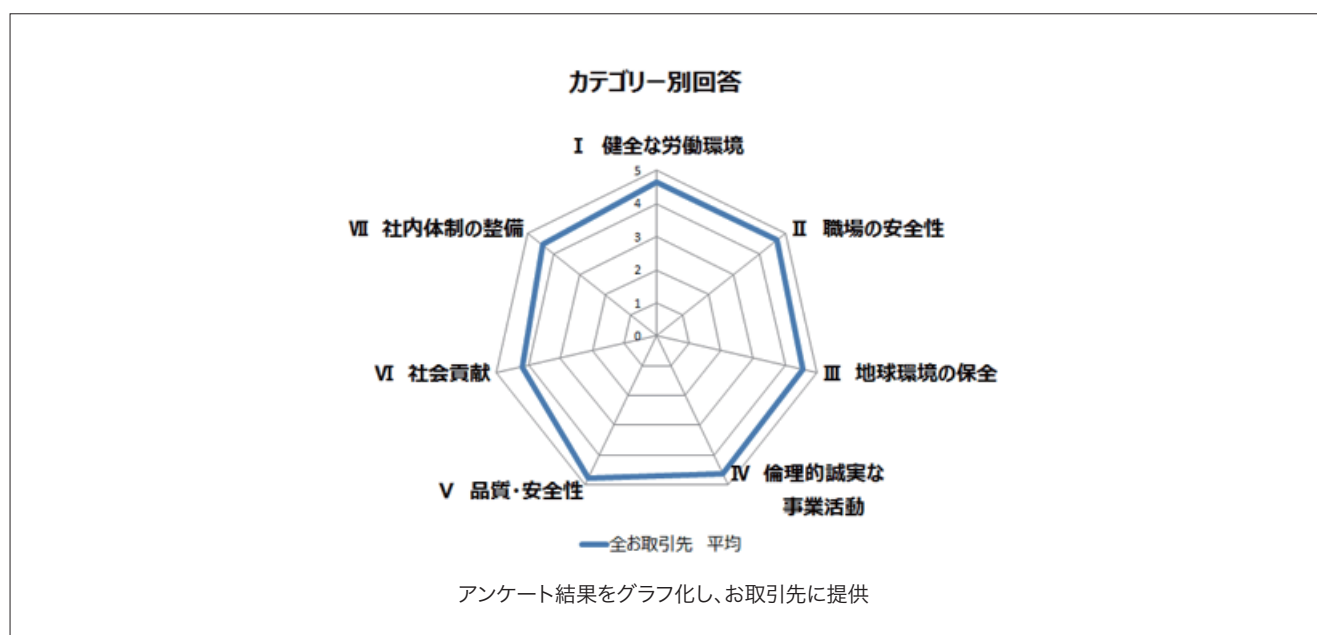
お取引先とともにCSRのレベルアップを目指す

CSRアンケートをもとに、改善要請や現場確認を実施

部品・材料を供給いただいているお取引先のCSR活動水準向上のために、2012年度からCSRアンケートを始めました。

このアンケートは3年ごとに行っており、2回目の実施となる2015年度のアンケートは、既存の「労働時間」や「機械装置の安全対策」、「製造工程で用いる化学物質の管理状況」など、約80項目の5段階評価に加え、「省エネルギー活動の目標達成率」や、「不正行為の通報件数」、児童労働禁止の関連設問として「最も若い従業員の年齢」など定量的な情報も記入いただく内容に改めました。この改善により、500社以上のお取引先から、前回と比べて、より具体的な活動情報を提供いただくことができました。

また従来は、課題の見つかったお取引先に対して改善計画の策定を要請するなど限定的なフィードバックでしたが、今回からは、今後の活動に生かしていただくため、活動情報を提供いただいたうち約500社のお取引先に、アンケートの集計・分析結果から分かった地域ごとの水準や傾向、お取引先の活動レベルなどの情報を提供しました。



2017年には、お取引先に策定いただいた改善計画の進捗状況を把握するため現場確認を行う予定ですが、お取引先とともに実情に応じた改善や活動の深化を図っていきたいと考えています。

ブラザーグループは、これからもお客様に優れた価値を迅速に提供するため、ビジネスパートナーと相互信頼関係を築いて、成長し合うことを目指します。

ビジネスパートナーとともに

CSR調達の推進

お取引先の優秀なCSRの取り組みを表彰し、お取引先のCSR活動を推進

最優秀CSR賞1社と優秀CSR賞3社を選出

マシナリー事業の工業用ミシンなどを生産している刈谷工場、兄弟機械(西安)有限公司、ブラザーマシナリー(ベトナム) Co.,Ltd.の3工場は、お取引先におけるCSR活動のさらなる推進に向け、2015年から優秀なCSRの取り組み事例を表彰する制度を始めました。

この表彰制度は、2年間にわたり調査が行われ、1年目はお取引先を対象にコンプライアンス、環境配慮、安全性など7項目についてアンケート調査と現場確認が実施されます。翌年さらにCSRの取り組み事例を募集し、応募のあった中から優秀なお取引先を表彰するものです。

今回30社から応募があり、環境配慮や安全性、取り組みの継続性などさまざまな視点で3工場の責任者が審査し、最優秀CSR賞1社と優秀CSR賞3社を選定しました。

表彰式は2017年3月に、最優秀CSR賞は受賞したベトナムのAiden Vietnam Ltd.で、優秀CSR賞は中国で開催されたお取引先交流会の中で行われました。また、応募いただいたすべてのお取引先には、感謝状を贈呈しました。

CSR表彰制度を通して、労働環境改善、廃棄物の削減、ISO14001の取得やそれに基づいた取り組みなど多くの事例を各社から提供いただき、お取引先のCSRに対する姿勢や取り組み内容を知ることができました。お取引先からは、表彰されることで従業員のモチベーションアップにつながる、という声もあり、今後も継続する予定です。

この表彰制度を通じ、お取引先のCSR活動に対する意識の向上と活動の拡大・拡充を推進していきます。

ブラザーグループは、これからもお客様に優れた価値を

迅速に提供するため、ビジネスパートナーと相互信頼関係を築いて成長し合うことを目指します。



Aiden Vietnam Ltd.での表彰式

ビジネスパートナーとともに

CSR調達の推進

お取引先の優秀なCSRの取り組みを表彰し、お取引先のCSR活動を推進

「最優秀CSR賞」受賞企業のコメント



Aiden Vietnam Ltd
植木 正俊 様

ブラザーグループ様のCSR活動理念に沿うことができ、大変光栄に思っております。

Aiden Vietnam Ltd.では、地域社会・国際社会の発展に貢献することを基本と考えております。「地域、社会に貢献する」「従業員を含め人にやさしく環境にやさしい」を念頭に、全従業員が一丸となり、活動を深化・継続させることを目指します。

「優秀CSR賞」受賞企業のコメント



寧波市北侖旺業機械有限公司
陳培国 様

幸福の時も、その源泉を忘れず、裕福になって、恩に報いることは企業家の良心と責任だと思えます。社会に愛心を加えることにより、和やかな雰囲気になります。寧波市北侖旺業機械有限公司は「社員に報いて、社会に貢献する」を主旨として、貢献意識と社会責任を強化し、公益慈善事業を頑張り続けます。



寧波市祥瑞機械有限公司
李德祥 様

2016年度の取引先交流会でCSRの表彰をしていただき、本当に幸甚に存じます。長い間、弊社は御社から指導や支持をして頂き、誠に感謝しております。今回の受賞を契機に、ブラザーグループのCSR要望に従って、従業員の福祉や環境保護、社会責任と社員教育などを推進して、向上して参ります。



東莞新技電子有限公司
徐躍勇 様

御社より優秀CSR賞を頂きましたこと、感激にたえません。心より感謝を申し上げます。

当社はすべての従業員と地域社会の皆さんに健康と成長が図れる職場環境の提供に注力しております。

従業員を幸せにし、顧客の心を打ち、企業が勝ち抜いていく人間本位のクリーンな企業になることを目指し引き続き、努力して参ります。

ビジネスパートナーとともに

お取引先の声

ブラザーグループとの相互成長に向けて

CSR調達は世界的な潮流であり、その定着・浸透は、企業を取り巻く社会的リスクを回避し、新たな顧客獲得の機会拡大にもつながります。この主旨をご理解いただき、ブラザーグループとの信頼関係を基盤に相互成長を目指すお取引先から、多くの声が寄せられています。

お取引先から



職場環境の改善など従業員に対するCSR活動を推進

SIK Vietnam Co., Ltd
Tran Quoc Khanh 様

これまでのCSR活動

SIK Vietnam Co., LtdのCSR活動は常に従業員の職場環境と周囲の環境の質の改善に取り組んでいます。具体的には、LED照明器具の使用によるエネルギー消費の削減、敷地内の植樹によるCO2の削減、社員食堂で提供する食事の質の改善、安全ベルトなど適切な労働保護器具の設置、定期健康診断の実施などを行っています。また、慈善活動、毎年恒例の社員旅行、および困難な状況に直面している従業員の支援などの社会活動も行っています。

CSR活動に関する今後の課題や取り組み

私たちは常にお客様と協力しCSR活動を共有します。私たちの今後の目標は、職場環境を改善し、環境法を順守することです。

ビジネスパートナーとともに

お取引先の声

お取引先から



CSR活動に継続的に取り組み、より良い社会の構築を目指す

Bigmate Philippines Inc.
Mary Rose Cruz 様

これまでのCSR活動

年間テーマ「強みを拡大し、弱みを改善する」のもと、Bigmate Philippines Incorporatedは、CSR活動の改善と有効化に継続的に取り組み、より良い社会の構築を目指しています。

1. 毎月、全従業員を対象に環境、安全衛生に関する意識向上のためのオリエンテーションを実施する。
2. 工業団地活動(工業団地協会の市民マラソン、川の清掃、植樹、火災防止活動)および、環境、安全衛生に関連する活動を支援し、積極的に参加する。
3. 貴重な命を献血によって救うため、献血活動のようなプログラムを提供する。
4. 会社の事業活動の成功に貢献した従業員に追加の報酬を与え評価する。
5. 社内遠足、クリスマス会のような社内イベントを開催することにより、気晴らしや娯楽の機会を提供し、従業員同士の仲間意識を促進する。
6. 従業員の労働環境を毎週確認して、安全で衛生的な職場作りを促進する。

CSR活動に関する今後の課題や取り組み

1. フィットネスプログラムの促進。
2. 会社が参加するCSR活動への、従業員によるボランティア参加人数を増加させる。
3. 各個人のCSRに関する知識を向上させる。
4. 毎年、CSR活動の改善に取り組む。

ビジネスパートナーとともに

お取引先の声

お取引先から



地球環境に配慮することをモットーに成長

珠海美蓓亜精密馬達有限公司
蒲恒光 様

これまでのCSR活動

- 1.旧正月や中秋の名月など季節行事のときに、珠海市敬老院と児童福利院に生活用品や果物などを寄贈
- 2.献血活動の実施
- 3.重大な病気を患った従業員のため寄付活動を実施
- 4.地震被災地のため募金活動を実施
- 5.ボランティア活動に積極的に参加(例えば、旧正月に駅で行き来する乗客にサービスを提供する活動や、珠海国際マラソン大会にボランティアサービスを提供する活動、植林活動など)

CSR活動に関する今後の課題や取り組み

- 1.いままで実施してきたCSR活動を継続していきます。
- 2.会社の経営理念を引き続きしっかりと履行し、地球環境に配慮することをモットーに成長していきます。



従業員が帰属意識を持てる会社づくり

三威塑胶電子(香港)有限公司
余晓琴 様

これまでのCSR活動

- 1.チームの求心力を高めるため、四半期あるいは半年に一回、全従業員参加のイベントを開催しています。例えば、旅行、バーベキューなど。
- 2.毎月、従業員の誕生日を祝っています。
- 3.知識のコンクールを開催しています。例えば、安全知識大会。
- 4.多彩な文化・スポーツ・レジャーイベントを開催しています。例えば、バスケット大会、バドミントン大会、図書の貸出しなど。
- 5.毎年3月8日「女性の日」に、従業員に雨傘や映画チケットなど贈り物をしています。
- 6.中秋の名月や端午の節句に、従業員に月餅、ちまきなどの贈り物をしています。
- 7.毎年、従業員の健康診断を行っています。
- 8.従業員またはその家族に重大な病気を患った場合、寄付活動を行っています。
- 9.新入社員と長年勤務の従業員に配慮する取り組みを行っています。

CSR活動に関する今後の課題や取り組み

- 1.従業員が帰属意識を持てる会社づくりを図っていきます。
- 2.持続可能で整ったコミュニケーション仕組みを作っていきます。

株主とともに

IRコミュニケーション

株主・投資家とのコミュニケーション

積極的な情報開示

ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)は、株主・投資家の皆さまへの情報提供の機会を増やし最新の情報を分かりやすくお伝えすることにより、株主・投資家の皆さまとの長期的な信頼関係の構築に努めています。

株主の皆さまに対しては、年2回株主通信(通期号は招集ご通知と合冊化)をお届けし、ブラザーグループの業績や最新の話題をお伝えしています。

機関投資家・証券アナリストの皆さまに対しては、社長自らが説明を行う決算説明会を年2回開催しているほか、積極的に個別訪問や取材対応を行っています。個人投資家の皆さまに対しては、各地の証券会社支店での会社説明会を中心に事業内容や経営戦略の説明などを行っています。

また、ブラザー工業は、2017年6月23日(金)に、「第125回定時株主総会」を名古屋東急ホテル(愛知県名古屋市)で開催し、390名の株主の皆さまにご出席いただきました。本総会では、2016年度のブラザーグループの事業状況の報告や2017年度の業績見通しに関する説明を行い、議案審議では、多くの株主の皆さまからご賛同を得て、すべての議案について原案どおり承認可決されました。株主総会終了後には、株主の皆さまが当社役員と直接対話する「株主懇談会」も開催しました。

ブラザー工業は、これからもより多くの株主・投資家の皆さまとコミュニケーションをとる機会を作り、積極的な情報開示を行っていきます。



第125回定時株主総会

株主とともに

IRコミュニケーション

会社説明会を積極的に開催し、個人投資家にPR

個人投資家向け会社説明会を全国各地で多数開催

ブラザー工業は、株主・投資家の皆さまへの情報開示を積極的に行っています。年2回お届けしている株主通信(通期号は招集ご通知と合冊化)のほか、会社説明会などさまざまなコミュニケーションの機会を作り、信頼関係の構築に努めてきました。

近年は株式投資環境が盛り上がりを見せ、個人投資家の関心もますます高まっています。そのような状況の中、個人投資家の皆さまに愛着を持って長く株式を保有していただくため、「ブラザーのファン作り」活動に力を入れています。

2016年度は札幌、東京、浜松、名古屋、京都、大阪、広島、松山、高松と各地の証券会社支店を会場として計12回の会社説明会を開催し、延べ1,800名以上の個人投資家の皆さまとコミュニケーションを図ることができました。また、各会場には製品の展示コーナーを設置し、多くの投資家の方々から質問をいただくなど、ブラザーグループのモノ創りを直接ご紹介できる貴重な機会となりました。ご参加いただいた個人投資家の方々から、励ましや今後への期待の言葉を多数いただき、「ブラザーのファン作り」への確かな手応えを感じることができました。

ブラザー工業は、これからも会社や製品の魅力を伝えるため、全国各地で会社説明会を行う予定です。株主・投資家の皆さまと直接コミュニケーションができる機会を大切に、さらなる「ブラザーのファン作り」のための活動を積極的に続けていきます。



200人を超える方々が参加した、名古屋会場での説明会



製品の展示コーナーにお越しいたいただいた個人投資家の方々への説明

株主とともに

外部からの評価

「モーニングスター社会的責任投資株価指数」

9年連続で「モーニングスター社会的責任投資株価指数」構成銘柄に選定

2017年1月4日付けでモーニングスター株式会社の算出する「モーニングスター社会的責任投資株価指数(MS-SRI)」の構成銘柄が発表され、ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)は、2008年から9年連続で選ばれました。

社会的責任投資(SRI: Socially Responsible Investment)とは、従来の財務分析による投資基準に加え、社会への貢献度合いや倫理面、環境面から企業を評価する投資方法です。国内初のSRI株価指数である「MS-SRI」は、国内上場企業約4,000社の中から、社会性に優れた企業と評価できる150社を選定し、その株価を指数化したものです。

投資家の皆さまからのSRIへの関心が高まる昨今、9年連続で選定されていることは、ブラザーのコーポレートガバナンスやコンプライアンスの体制だけでなく、雇用、健康・安全、教育、地域社会、環境等さまざまな社会的課題への積極的な活動と情報公開が高く評価された結果と捉えています。

ブラザーグループは、これからも中長期的な視野に立ってグローバルなCSR経営を推進することで、すべてのステークホルダーからの信頼を積み重ねるとともに、さらなる事業の成長を目指します。



<https://www.morningstar.co.jp/sri/index.htm>

*: 記載されている情報は、2017年1月4日時点のものであり、予告なしに変更される場合があります。

「SNAMサステナビリティ・インデックス」

5年連続で「SNAM サステナビリティ・インデックス」構成銘柄に選定

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社が独自に設定している「SNAMサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に、ブラザー工業は、2012年から5年連続で選ばれました。

「SNAMサステナビリティ・インデックス」は、2012年8月から設定されており、SOMPOリスクアマネジメント社の環境調査とインテグレックス社の社会・ガバナンス調査から企業のESG(環境・社会・ガバナンス)を評価し、構成銘柄を選定しています。

年金基金や機関投資家向けなど、ESG評価の高い企業の株式に投資する社会的責任投資(SRI: Socially Responsible Investment)ファンドの運用に活用されています。

設定当初から5年連続での採用は、ブラザー工業のESGの取り組みが継続的に評価された結果と捉えています。

ブラザーグループは、これからも中長期的な視野に立ってグローバルなCSR経営を推進することで、すべてのステークホルダーからの信頼を積み重ねるとともに、さらなる事業の成長を目指します。



株主とともに

外部からの評価

「健康経営銘柄2017」・「健康経営優良法人」(ホワイト500)

「健康経営銘柄2017」に初選定、「健康経営優良法人」(ホワイト500)に認定

2017年2月、ブラザー工業は、経済産業省と東京証券取引所が共同で選出する「健康経営銘柄2017」に選定されるとともに、経済産業省が設計し日本健康会議が運営する健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人」(ホワイト500)に認定されました。



健康経営銘柄は、東京証券取引所に上場している企業の中から、従業員などの健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を原則1業種1社選定する制度です。長期的な視点から企業価値の向上を重視する投資家にとって魅力ある企業として紹介することで、企業による「健康経営」*の取り組みを促進することを目的としています。

健康経営優良法人認定制度は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みに基づいて、特に優れた健康経営を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰するものです。健康経営に取り組む優れた法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として、社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目的としています。

ブラザー工業は、従業員が長期にわたり才能とスキルを発揮するために、一人ひとりの健康管理が重要であると考えています。従業員に対する継続的なメンタルヘルス教育や禁煙サポート・受動喫煙防止の活動など、従業員の心身の健康維持・増進に取り組んできました。

2016年9月には、さらなる健康経営推進のため、ブラザーグループ健康経営理念を制定するとともに社長を最高健康責任者とし、より強固な健康経営推進体制を構築しています。

ブラザーグループは、これからも健康経営の実現に向け、従業員の健康の保持・増進に対する取り組みを戦略的に進めていきます。

*: 「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

地域社会とともに

グローバルな社会貢献活動

ブラザーグループ全体で一体感を持った社会貢献活動を推進

ブラザーグループは、「ブラザーグループ グローバル憲章」に示されている「所属する国や地域に対する貢献を常に意識し、地域社会に対する社会的・経済的・文化的責任を可能な限り分担することにより、よき企業市民となるよう努力する」という考え方にに基づき、各国・地域の拠点でさまざまな社会貢献活動を行っています。またブラザーグループ全体で、よりグローバルに一体感を持った社会貢献活動を推進するため、下記の2つの活動を中心に、各国・地域の拠点と連携してグローバルに展開しています。

- (1) 地球環境への配慮に関連した活動
- (2) 「地域」「人づくり(従業員を含む)」を意識した活動

2016年度の取り組み

ブラザーグループは、環境活動を象徴するロゴとスローガンである「Brother Earth」に基づき、企業活動のあらゆる面で地球環境への配慮に前向きで継続的な取り組みを行っています。

2016年度もその一環として、製品における省エネルギーや工場の操業における省エネルギー、環境保護団体の支援や従業員参加の環境保全活動などをグローバルに展開しました。

「地域」「人づくり」を意識した活動としては、2008年から日本で、地域の課題解決に取り組む若手起業家を支援する「東海若手起業塾」に協賛しています。また、世界各地で開催されるがん患者を支援しがん征圧を目指すチャリティー活動に、日本・アメリカ・ニュージーランドなど世界18の拠点の従業員がそれぞれ参加し、グローバルで一体感をもった活動の推進を図っています。

各国・地域の社会貢献活動事例(分野別)

活動分野	活動	活動拠点
地球環境への配慮に関連した活動	「Brother Earth」のスローガンに基づく、環境保護団体の支援や従業員参加の環境保全活動のグローバルでの実施	ブラザー工業株式会社 各国・地域の製造・販売拠点
「地域」「人づくり」を意識した活動	地域の課題解決に取り組む若手起業家を支援する「東海若手起業塾」	ブラザー工業株式会社
	がん患者を支援しがん征圧を目指すチャリティー活動への従業員参加	・ブラザー工業株式会社 ・ブラザーインターナショナルコーポレーション(U.S.A.) ・ブラザーインターナショナル(ニュージーランド)Ltd. をはじめとした世界18の拠点

地域社会とともに

グローバルな社会貢献活動

ゴールデンリングプロジェクトへの従業員参加

ブラザーグループは、グローバルで一体感を持った従業員参加の社会貢献活動を目指し、「リレー・フォー・ライフ」をはじめ、がん患者を支援するチャリティーイベントへの参加を推進しています。支援活動を各拠点へとつなげ、世界地図に支援の輪を描いていくことから、2011年にこの活動を「ゴールデンリングプロジェクト」と命名。2016年度は、世界18の拠点でブラザーグループの従業員とその家族が取り組みに参加しました。

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」で命の大切さを考える

ゴールデンリングプロジェクトに参加した多くの拠点は「リレー・フォー・ライフ」に参加しました。リレー・フォー・ライフとは、参加者が寄付を行うとともに、チームの仲間と24時間歩き続けることで、がん患者を励まし勇気づけ、がんへの意識や備えを学ぶイベントです。集まった寄付金は、がんの新治療や新薬開発、若手医師の育成、がん検診の啓発や受診率アップなどの活動に活用されています。

ブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)と国内グループ会社の従業員とその家族は、2010年から愛知県岡崎市で行われる「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」に参加しています。

2015年からは同イベント会場内で、従業員を対象にした健康への意識向上や病への備えにつながる「サバイバー(闘病中の人、病気の経験者)と語る会」をブラザー独自に開催しています。

また、2007年に兵庫県から始まった「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」が、2016年に10周年を迎えたことを記念してブラザー工業は、刺しゅう入りのタスキを、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」をとりまとめる公益財団法人日本対がん協会へ寄贈しました。そのタスキは北海道から沖縄まで49カ所の開催地に引き継がれました。



全国の開催地でメッセージが書き加えられたタスキ

上海で、乳がん患者を支援するチャリティーマラソンに参加

2016年5月、中国の販売拠点の1つである兄弟(中国)商業有限公司(以下、BCN)は「ゴールデンリングプロジェクト」の一環で、上海世紀公園で行われた乳がん患者を支援するチャリティーマラソンに参加しました。このチャリティーマラソンは、乳がん患者を支援するボランティア団体「MORE THAN AWARE」超越意識社団が主催し、がん患者の回復と交流を支援する組織である上海市癌症康復倶楽部の後援で開催されました。

BCNの従業員26名が参加し、参加費は上海市癌症康復倶楽部に寄付されました。また上海市長寧区癌症康復倶楽部へ、ブラザーのロゴを刺しゅうした帽子250個を寄贈しています。

上海世紀公園の湖を囲む散歩道を利用した5kmのマラソンコースと2kmのウォーキングコースがあり、ウォーキングコースに参加した従業員はがん患者の皆さんとともに、約50分かけてゴールしました。

参加した従業員からは「私たちが歩いている写真を見て、友達から来年参加したいという問い合わせがありました」、「来年は家族と参加したいです」とコメントがありました。

BCNは、今後もチャリティーマラソンに参加し、がん患者を支援する社会貢献活動に取り組んでいきたいと考えています。



ウォーミングアップする参加者たち

地域社会とともに

グローバルな社会貢献活動

ゴールデンリングプロジェクトへの従業員参加

2016年度 ゴールデンリングプロジェクト参加拠点



アメリカ



上海



ドイツ



インドネシア



シンガポール



台湾



日本



マレーシア



南アフリカ



韓国



アラブ首長国連邦



オーストラリア



フランス



香港



ベトナム



タイ



ニュージーランド



フィリピン

地域社会とともに

グローバルな社会貢献活動

大規模災害への対応

世界各地で発生する大規模災害に対して、ブラザーグループは発生地域や被害の状況に応じて、会社と従業員が一体となった支援に取り組んでいます。

1. グループからの義援金による支援
2. 従業員からの寄付「絆ファンド」やボランティア活動による支援

会社からの義援金は、緊急支援として主に赤十字社やNPOなどに拠出され、従業員からの寄付やボランティア活動は、被災地のニーズに合わせて役立てられます。

東日本大震災の復興支援

ブラザーグループは、2011年3月11日に発生した東日本大震災で被災された地域の復旧・復興を願い、「現地のニーズに合った、支援の効果が見える活動」「被災者の"生きがい創り、しごと創り"につながる活動」「従業員の積極的な参加」を3つの柱に位置付け、継続的な支援活動を着実に進めています。

具体的には「絆ファンド」を活用して、2013年には宮城県七ヶ浜町(以下、七ヶ浜町)の子どもたちの遊び場「きずな公園」、2016年には子どもたちの知の拠点「きずな図書室」を整備しました。そのご縁から2016年10月に、国際化に積極的に取り組んでいる七ヶ浜町の子どもたちが英語でコミュニケーションできることを目指す「グローバル人材育成プログラム」のスタートを記念して行われた講演会で社長が講演しました。



きずな公園



きずな図書室

熊本地震の復興支援

ブラザーグループは、2016年4月14日に発生した熊本地震に対して、義援金300万円を認定NPO法人ジャパン・プラットフォームに拠出しました。

また、「絆ファンド」を活用して、2016年12月には、熊本県御船町のニーズに応え、点在する仮設住宅への人の移動や物資の運搬などに活用するための乗用車を寄贈しました。

被害を受けられました皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り致します。



乗用車の贈呈式

地域社会とともに

各地域での社会貢献活動

チャレンジ精神あふれる若手起業家を支援する「東海若手起業塾」

「東海若手起業塾」

近年、日本では多様な社会的課題の解決や地域の活性化などにビジネスとして取り組む若者が増えています。しかし、ビジネスを成長させるための事業経験や人的ネットワークが不足しているために、さまざまな経営問題に解決策を見出せない場合があります。

そこでブラザー工業株式会社(以下、ブラザー工業)は、2008年、本社のある東海地方の若手起業家を支援するために、起業家支援に取り組む国内の複数のNPOが共同で運営する「東海若手起業塾」への協賛を開始し、2017年3月までに合計41名の起業家を支援しました。この塾では、起業家の描く事業戦略をヒアリングした上で、戦略に足りないものなどを実行委員会とともに検討したり、実際にユーザーとなり得る方々とともに製品開発する機会を提供したりするなど、それぞれの事業を成長軌道に乗せるための活動を実施しています。

10年目となる2017年は、5月に起業家の募集が行われました。8月の選考会で選抜された起業家は、2018年3月の最終報告会までの7か月間、「東海若手起業塾」の実行委員会とともに、ビジネスモデルや事業戦略の質の向上を目指します。



若手起業家とNPO関係者たち

「東海若手起業塾」の支援活動にブラザー工業従業員が参画し活動報告会を実施

2012年度からは、従業員が会社の業務で培ったスキルを起業家の支援に生かす「プロボノ」として参画し、起業家のチャレンジ精神に触れる活動をスタートしました。2016年度は、選考された3名の従業員が、プロボノとして取り組みました。

2017年3月には、展示館 ブラザーコミュニケーションスペースで2016年度のプロボノ活動報告会が行われ、従業員、NPO関係者ら約30名が参加しました。

プロボノとして参画した従業員から、起業家と共に苦労して課題を克服したことや、起業家を支援する中で得た経験などが報告され、「起業家の志を実現するために多くの方々と会い、さまざまな刺激を受けることができました。今の自分の力不足な点と、貢献できる点の双方に気づくことができ、自分のキャリアを考える上で貴重な財産となりました」などのコメントがあり、プロボノとして参加した従業員が、起業家を支援する上で得た学びを披露することで、「プロボノ」の活動に対する理解と興味が深まる機会になりました。



従業員も起業家支援の現場に参画



プロボノ活動報告会でプレゼンする従業員

起業家の成長と地域のチャレンジ風土醸成に貢献

「東海若手起業塾」で支援を受けた起業家の中から、日経ウーマン・オブ・ザ・イヤーの受賞者が生まれました。また、経済産業省と農林水産省が共同で取りまとめた「農商工連携ベストプラクティス30」に選出された起業家も生まれています。「東海若手起業塾」を通じて、ビジネスを成長させるための事業経験や人的ネットワークを得て、経営が安定し、収益が増加する起業家も増えています。

2015年に、これまで支援を受けた起業家たちが独自の会を発足し、現在支援を受けている起業家の良きアドバイザーとなっています。さらに「プロボノ」として参画した従業員自らが、社会的課題の解決や地域の活性化の活動に参加し始めるなど、9年間の継続した取り組みによって、「東海若手起業塾」の枠を超えた活動へと広がっています。

地域社会とともに

各地域での社会貢献活動

アルゼンチンで、経済的に恵まれない家庭にギフトボックスを寄贈

会社と従業員の寄付により15家族分のギフトボックスを用意

ブラザーインターナショナルコーポレーション(アルゼンチン)S.R.L.(以下、BIC(アルゼンチン))は、2015年から、Fundación Caminando Juntosと協働し、経済的に恵まれない家庭へ食料品を届ける活動を行っています。

Fundación Caminando Juntosは、アルゼンチンの社会課題を解決するために設立された非営利団体です。慈善活動を行う団体に各地で集めた寄付金や支援物資を分配している全米最大の非営利団体であるユナイテッド・ウェイの下部組織のひとつです。

2016年12月、BIC(アルゼンチン)の従業員は、クリスマスと新年を祝うための食料品などを入れたギフトボックスを用意しました。

今年は、会社と従業員の寄付により15家族分のギフトボックスを作ることができ、12月14日にブエノスアイレス州の幼稚園に届けられました。

ギフトボックスの中には、小麦粉、油、牛乳、マヨネーズ、ジュース、ローソク、クリスマス用のテーブルクロスなどが入っています。

BIC(アルゼンチン)は、これからも所属する地域社会をよりよくするための継続的な取り組みを、従業員一体となって進めていきます。



ギフトボックスを作る従業員



参加した従業員たち

地域社会とともに

各地域での社会貢献活動

アイルランドで、若者たちの健やかな成長を願いクロスカントリーレースを支援

「ブラザーズクールクロスカントリー」に2,000人を越える生徒が参加

販売拠点であるブラザーアイルランドDAC(以下、ブラザーアイルランド)は、若者たちの健やかな成長を願い、地域の陸上競技クラブのCLONLIFFE HARRIERS A.Cが主催するクロスカントリーレースを2009年から支援しています。

このレースは、「ブラザーズクールクロスカントリー」と名づけられ、ブラザーアイルランドのあるレンスター地区とその周辺の小学校や中学校から、今年は2,000人を越える生徒たちが参加しました。生徒たちは、小学生女子や男子の部、中学生個人やチームの部などそれぞれのレースにわかれ、クロスカントリーを楽しみました。

ブラザーアイルランドの従業員は、レース当日に会場運営のサポートや表彰式のメダル授与を行いました。

参加した従業員は、「参加する生徒数が年々増加していることを嬉しく思います。このレースは、今では学校の恒例行事となり、生徒も先生たちも楽しみにしています。活発な若者たちの健やかな成長のため、ブラザーグループのモットーである"At your side."の精神で支援しています」とコメントしています。

ブラザーアイルランドは、これからも地域に対する貢献を常に意識し、継続的な取り組みを行っていきます。



スタートを切る生徒たち



表彰式

地域社会とともに

各地域での社会貢献活動

トルコで、障がいのある生徒たちが学ぶ職業教育センターを支援

生徒たちが操作を習得するためにミシンを寄贈

販売拠点であるブラザーインターナショナル(ガルフ)トルコ支店(以下、BIC(GULF)トルコ支店)は、障がいのある生徒たちが学ぶ職業教育センター(以下、センター)を支援するため、2014年にプリンターを、2016年にミシン5台を寄贈しました。

このセンターは、トルコ・イスタンブールの郊外に位置するクチュクチェックメジェ地区にあり、国の支援により設立された学校です。生徒たちは理容、調理、飲食サービス、手芸などの実習授業を通して、社会に出て働くための知識や技術を学んでいます。

BIC(GULF)トルコ支店では、ミシンの操作を習得することは生徒たちが社会に出て働くために役立つと考え、センターが希望するミシンの寄贈を行いました。

センターを訪問し授業を見学したBIC(GULF)トルコ支店の従業員は、読み書きも不自由な生徒たちが顔を輝かせながら授業に参加する姿を見て、とても有意義な支援だったと感じました。

2016年5月11日には、クチュクチェックメジェ地区の障がい者週間の一環で生徒たちの発表会が開催されました。この発表会には、地区知事や市長、学校関係者や生徒たちの保護者とともに、BIC(GULF)トルコ支店の従業員も招待されました。生徒たちのダンスや劇、歌の披露と、生徒たちが書いた絵が展示されていました。

発表会の後、BIC(GULF)トルコ支店の責任者は「ブラザーグループのモットーである"At your side."に基づき、今後もできる限りの支援をさせていただきます。センターの活動が若者たちを幸せにすることを願っています」と述べました。

BIC(GULF)トルコ支店は、これからも地域に対する貢献を常に意識し、継続的な取り組みを行っていきます。



センターを訪問し、ミシンを寄贈



発表会でダンスを披露する生徒たち

地域社会とともに

各地域での社会貢献活動

出稼ぎ農民労働者の子どもたちが通う上海市の小学校に書籍を寄贈

これまでに上海市や北京市郊外の小学校に約3,000冊の書籍とブラザー製品を寄贈

中国の販売拠点の1つである兄弟(中国)商業有限公司(以下、BCN)は、モットーである「中国で生まれ、中国とともに成長する」という考え方のもと、教育資源が比較的乏しい出稼ぎ農民労働者の子どもたちが通う上海市の小学校や、農家の子どもたちが通う北京市郊外の農村小学校に書籍を寄贈しています。

この活動は「Brother愛心書庫」と名づけられ、児童たちの成長支援と従業員の社会貢献意識の向上を目指して2011年から計4回実施しました。会社からと従業員から提供された書籍を合わせて、これまでに約3,000冊を小学校に寄贈しました。2015年からは、学校職員の事務環境をより良くするためにブラザー製品の寄贈もしています。

2016年10月13日には、上海市の小学校で贈呈式が行われ、プリンター、ラベルライターを寄贈するとともに、BCNの代表者13名が児童たちに書籍を手渡しました。寄贈先の小学校の校長先生からは、感謝状と表彰旗が贈られました。

寄贈した750冊の書籍のうち248冊はBCNの従業員から提供されたものです。従業員には、毎年4月から約半年にわたり、イントラサイトや朝礼などを通して書籍の提供を呼びかけています。



児童たちに書籍を渡す従業員



学校から送られた表彰旗

参加した従業員からは、「厳しい環境の中で、真面目に勉強する児童たちの強さに感動しました。寄贈した書籍が児童たちのさらなる成長に役立つよう願っています。また、ブラザーの一員として、このような有意義な活動に参加でき、とても誇りを感じました」とコメントがありました。

BCNは、これからも地域に対する貢献を常に意識し、継続的な取り組みを行っていきます。



担当者から

「Brother愛心書庫」を通し、愛を届けよう

兄弟(中国)商業有限公司
柯 晓玲

「Brother愛心書庫」が始まった2011年度は、BCNの従業員だけでなく、活動の趣旨に共感した台弟工業股份有限公司の従業員も参加しました。今年で4回目ですが、継続して積極的に参加している董事長や従業員の皆さんに心より感謝しています。

今後は、上海市や北京市の周辺地域の小学校だけでなく、より支援が必要な中国内陸部にある小学校にも、書籍やブラザー製品を寄贈していきたいと思っています。

第三者意見

ブラザーグループの2016年度のCSRへの取り組みに対する第三者意見

当意見は、ブラザーグループのCSRへの取り組みに関する本ウェブサイトの記載内容、および同社の環境、生産革新、購買、品質、人事、CSRの各担当者へのヒアリングに基づいて執筆しています。

同グループのCSRへの取り組みは、トップマネジメント層と現場が共に主体的にグローバル憲章の共有を進めるなど、適切に積み重ねていると言えます。

高く評価すべき点

- ・同社のCSRの基本原則となる「ブラザーグループ グローバル憲章」の共有について、27言語に翻訳され、世界各地に約560人のグローバル憲章共有リーダーが任命されて活動していること、社長やトップマネジメント層がその実践をそれぞれ約束(コミットメント)し、中国7拠点が合同で「中国横串共有リーダー会」を開催し、ベトナムでも全従業員対象の研修を受けて管理職層が「部門連係の理想を考える」機会を設けていること。トップマネジメント層と現場の従業員との対話機会が731回に上るなど、経営の基本原則を、上意下達的に浸透するのではなく、トップマネジメント層も世界各国の現場も自発的に共有を進めていることは、世界的にベンチマークされるべき水準にあると高く評価します。今後も、「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」と合わせて、2020年代に向けてチャレンジが求められる課題を設けるとともに、共有リーダーを中心とした各地・部門の取り組みや工夫、特に人権や環境負荷削減について、取引先も含めバリューチェーン全体で共有されることを、引き続き強く期待します。
- ・サプライヤーへの働きかけについて、労働環境・安全衛生・環境保全・倫理・品質・安全・社会貢献・社内体制に関して計80問で構成される「CSRアンケート」に基づくサプライヤー自身による自己評価をフィリピンにおける取引先に対しても実施するとともに、優秀な事例には「CSR表彰」を行い、受賞企業をウェブサイトでも紹介するとともに、点数の低い取引先には是正も求めていること。今後は、ISO 20400を参照しつつ、二次取引先への働きかけや、安全、環境、人権に関する項目への取り組み状況の定量的かつ正確な把握と、業種・規模別など集計結果のフィードバックに基づく改善が促進されることを期待します。



IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]
代表者 兼 ソシオ・マネジメント編集発行人
川北 秀人

川北 秀人

取り組みの進捗を評価しつつ、さらなる努力を求めたい点

- ・環境負荷の削減について、国内外の生産・販売会社で温室効果ガスの排出総量削減を積み重ねているとともに、SCOPE3の把握や、2020年以降も視野に入れた長期目標の策定を進めたことを評価しつつ、今後は、施設管理部門を含む生産現場全体が連動したエネルギーのジャスト・イン・タイム化や、ユニバーサル・デザイン・フォントの使用推奨、トナーセーブや2in1印刷などのエコモードを標準設定とした出荷など、使用段階での環境負荷削減を促すことも引き続き強く期待します。
- ・品質管理と顧客満足の向上について、お客様迷惑率という独自指標に基づいて状況を定量的に把握し、不具合への対応から、技術の評価による予防までを体系的に進めていることを評価しつつ、今後は、開発・企画プロセスにおける安全・品質関連項目の位置付けをしくみとして確立するとともに、性能として訴求するなど、開発・企画部門との連動がさらに促されることを期待します。

第三者意見

ブラザーグループの2016年度のCSRへの取り組みに対する第三者意見

- ・人的多様性の向上と活用について、幹部・管理職人材対象の育成計画(拠点サクセッションプラン)に基づく研修などにより、主要拠点である中国において幹部管理職層の大半が現地人材で占められ、ベトナムやフィリピンにおいても研修が継続して実施されるなど取り組みが進んでいることを評価しつつ、今後は、中長期的なグローバル人材ポートフォリオ戦略に基づき、育成と活用の基盤が拡充されることに期待します。また、障害者雇用についても、国内グループの雇用率が2.2%に達していることを評価しつつ、今後は、障害者や日本で働く外国人などが、同じ属性の従業員と交流し相互に相談しあえる関係・環境づくりに、引き続き強く期待します。
- ・働き続けやすい職場づくりについて、管理職を対象とした介護セミナーをこれまでに計12回開催し、これまでに全管理職の約4割が参加し、ケアプラン作成サポートツールの提供や地域包括ケアセンターを招くなどの取り組みを高く評価しつつ、今後は育児・介護・看護のための休暇・休職・短時間勤務制度の利用率(ブラザー工業で、継続を含み9.65%)をさらに高められるよう、現場の課題の把握と解消がさらに進むことに期待します。また、「こころの相談窓口」について、労働組合を含めて開設されていることを評価しつつ、家族に関する悩みごとなどの多様な事例を積極的に紹介し、利用を促す取り組みが進むことを引き続き期待します。

グローバル企業として、取り組みの進展が期待される点

- ・多様なステークホルダーとのコミュニケーションについて、社長や役員などトップマネジメント層からの発信や従業員との対話が多数かつ多言語で行われていることを高く評価するとともに、今後は、NGOなど社外のステークホルダーとの対話の機会を、特に欧州において積極的に設け、次に取り組むべき社会的課題について学び、協働して取り組むきっかけに結び付けること、また、すぐれた取り組みを社内外に発信するための契機として、At your sideの視点から評価する評価・表彰制度の創設を、引き続き強く期待します。
- ・生物多様性や水資源への配慮・対応について、愛知ターゲットの進捗を確認する会議まであとわずか3年しかないことを踏まえて、今後は、印刷に不可欠な紙、ミシンによる縫製に不可欠な布の素材を供給する生態系のリスクへの理解・共有をさらに進め、Brother Earthとの連動も含めて、人材育成をはじめとする保全への取り組みを拡充することを引き続き期待します。

IIHOE

「地球上のすべての生命にとって、民主的で調和的な発展のために」を目的に1994年に設立されたNPO。主な活動は市民団体・社会事業家のマネジメント支援だが、大手企業のCSR支援も多く手がける。

▶「IIHOE」の関連サイト <http://blog.canpan.info/iihoe/>